

朝霞市子育て・定住に関する意識調査 結果報告書 (速報版)

令和6年(2024年)2月
朝霞市

目次

I	調査の概要.....	1
	1. 調査の目的.....	1
	2. 調査の方法.....	1
	3. 集計・分析のための地区区分.....	1
	4. 調査項目.....	1
	5. 回収結果.....	1
	6. 報告書の見方.....	2
II	回答結果.....	3
	1. あなたご自身及び世帯のことについて.....	3
	2. 子育てについて.....	8
	3. 朝霞市に居住した「きっかけ」及び「理由」について.....	13
	4. 住宅の住み替えについて.....	16
	5. 地域とのつながりについて.....	20
	6. 自由意見.....	23

I 調査の概要

1. 調査の目的

この市民意識調査は令和8年度(2026年度)から10年間のまちづくりの指針となる「第6次朝霞市総合計画」を策定するに当たって、地方創生の鍵を握る「若い世代」の意識や意向、ニーズを把握することを目的に実施したものである。

2. 調査の方法

- ① 調査対象 市内在住、5歳児の子どもがいる全世帯
(「朝霞市民意識調査」対象世帯を除く。)
- ② 対象者数 1,203人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳(令和5年12月1日現在)から抽出
- ④ 調査方法 郵送による配布・回収、インターネットによる回答を併用
- ⑤ 調査期間 令和5年12月15日送付、令和6年1月15日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ① 子育てについて
- ② 朝霞市に居住した「きっかけ」及び「理由」について
- ③ 住宅の住み替えについて
- ④ 地域とのつながりについて

5. 回収結果

- ① 配布数 1,203票
- ② 有効回収数 715票(紙回答:449票、Web回答:266票)
- ③ 有効回収率 59.4%(紙回答:37.0%、Web回答:37.2%)

6. 報告書の見方

①用語について

- ・ 図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を示す。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文や図表中で省略した表現を用いている。

②集計について

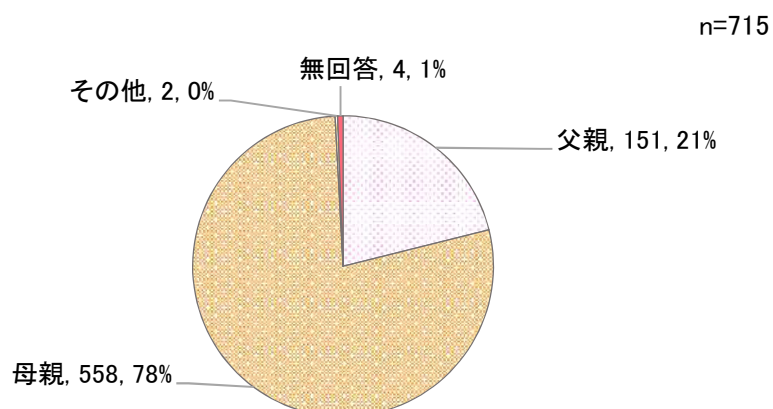
- ・ 比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100%にならない場合がある。なお、集計上の無回答には、無回答のほか無効な回答を含んでいる。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出している。このため、合計が100%を超えることがある。

II 回答結果

1. あなたご自身及び世帯のことについて

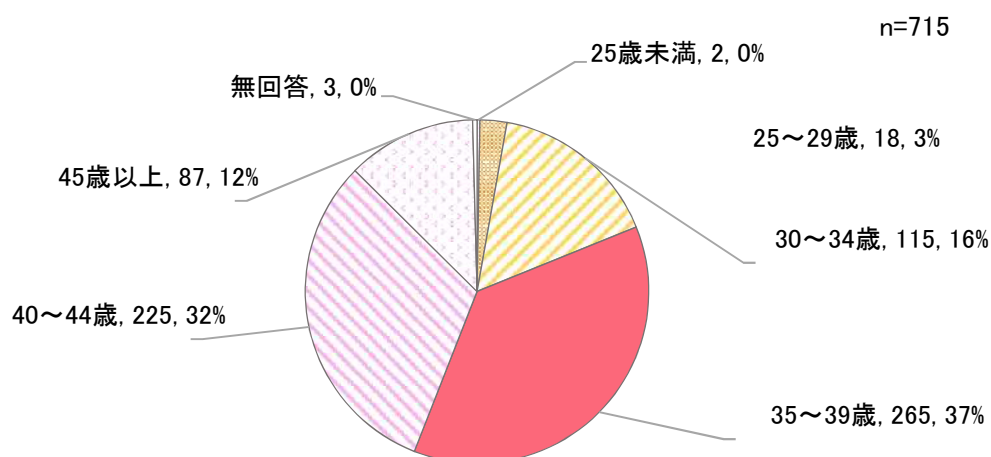
問1 この調査にご回答いただく保護者様について、宛名のお子さんからみた関係を教えてください。

宛名のお子さんからみた関係については、「母親」が78.0%、「父親」が21.1%となっている。



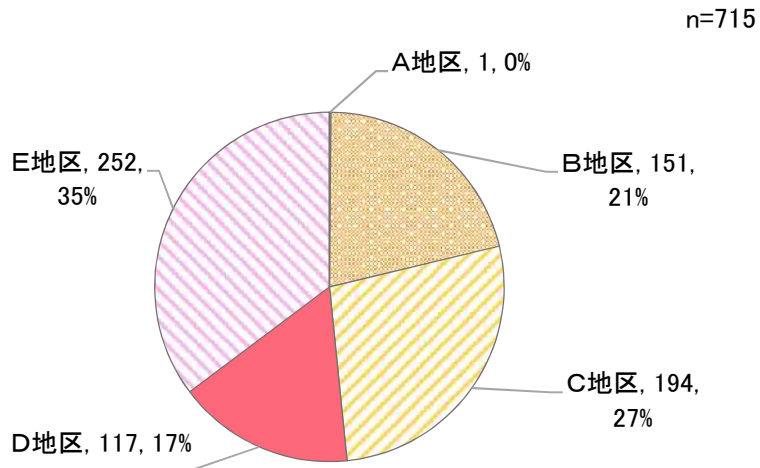
問2 ご回答いただく保護者様の年齢を教えてください。(令和5年(2023年)12月1日時点)

年齢については、「35～39歳」が37.1%と最も多く、次いで「40～44歳」(31.5%)、「30～34歳」(16.1%)となっている。

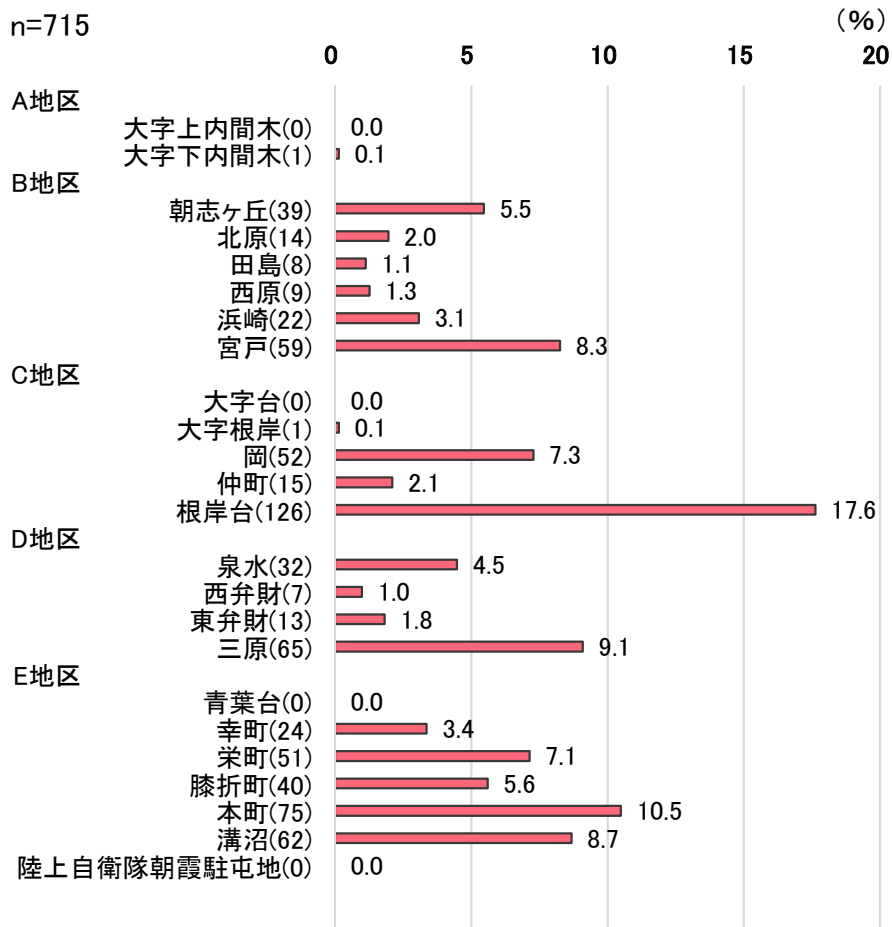


問3 お住まいの地区を教えてください。

居住地域については、「根岸台(1~8丁目)」が17.6%と最も多く、次いで「本町(1~3丁目)」(10.5%)、「三原(1~5丁目)」(9.1%)、「溝沼(1~7丁目、大字含む)」(8.7%)、「宮戸(1~4丁目、大字含む)」(8.3%)となっている。



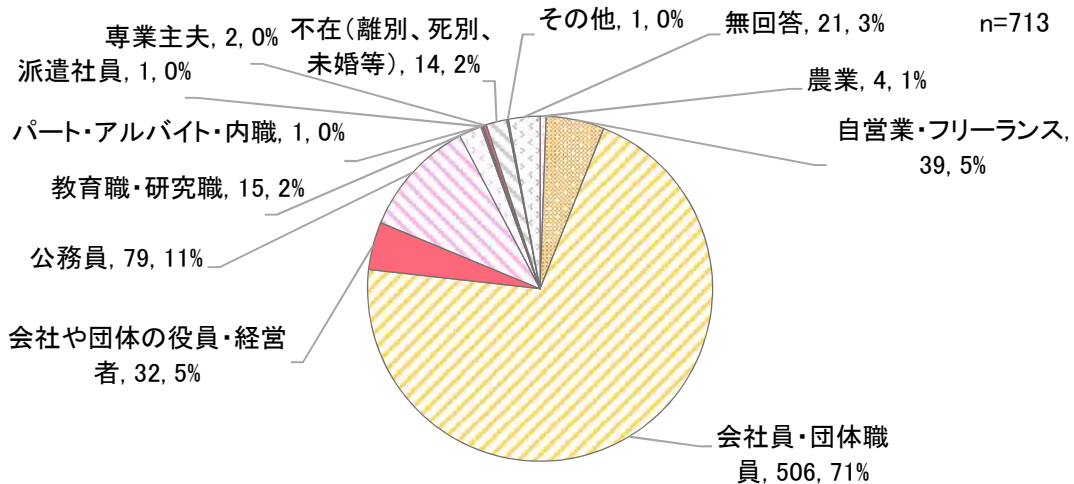
【地区別の回答傾向】



問4 宛名のお子さんの父母の主な職業・就労形態等について、それぞれ1つ選択してください。(問1で「その他」を選んだ方は、「その他」の欄から選択してください。)

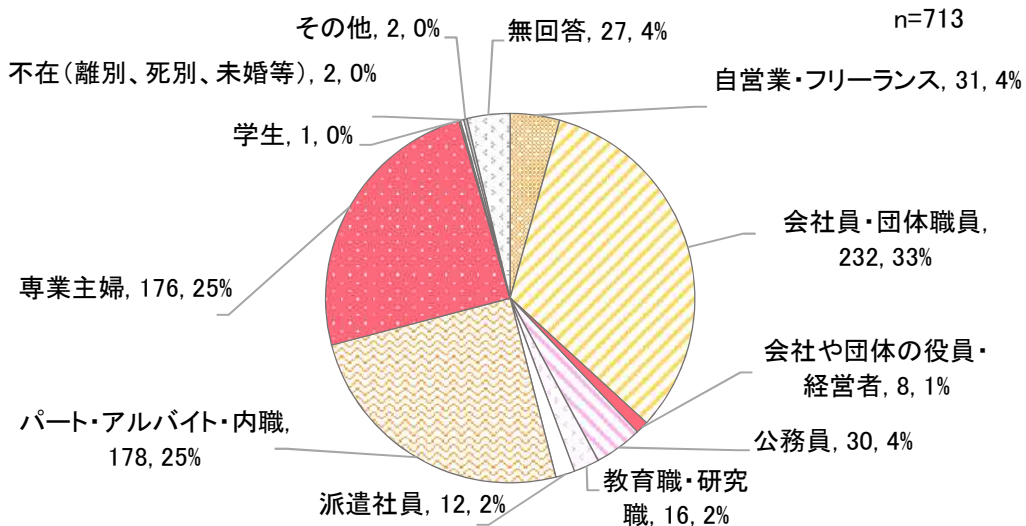
【父親の回答傾向】

父親の職業については、「会社員・団体職員」が70.9%と最も多く、次いで「公務員」(11.0%)、「自営業・フリーランス」(5.5%)、「会社や団体の役員・経営者」(4.5%)となっている。



【母親の回答傾向】

母親の職業については、「会社員・団体職員」が32.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・内職」(25.0%)、「専業主婦」(24.7%)となっている。



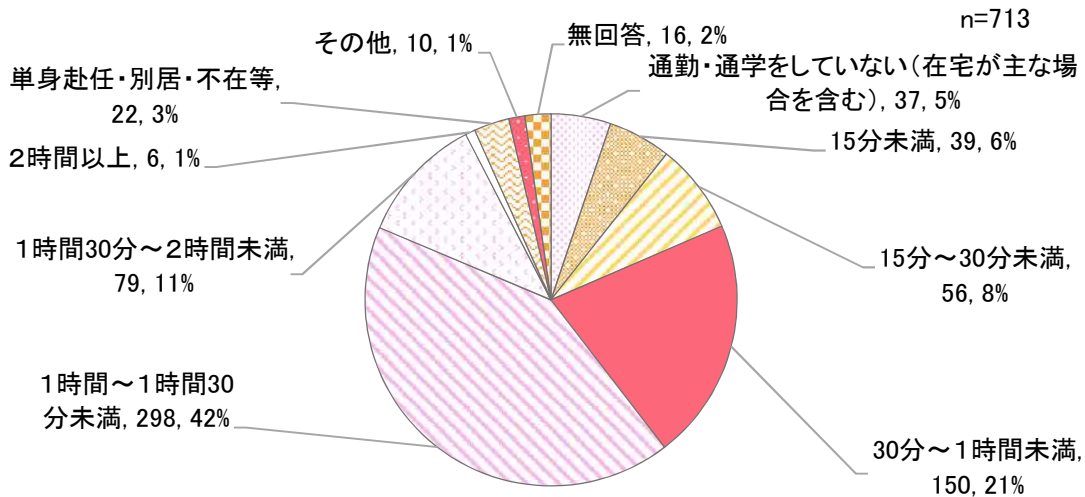
【その他(父母以外)の回答傾向】

(再集計中)

問5 宛名のお子さんの父母の自宅から主な通勤・通学先までかかる時間について、それぞれ1つ選択してください。(問1で「その他」を選んだ方は、「その他」の欄から選択してください。)

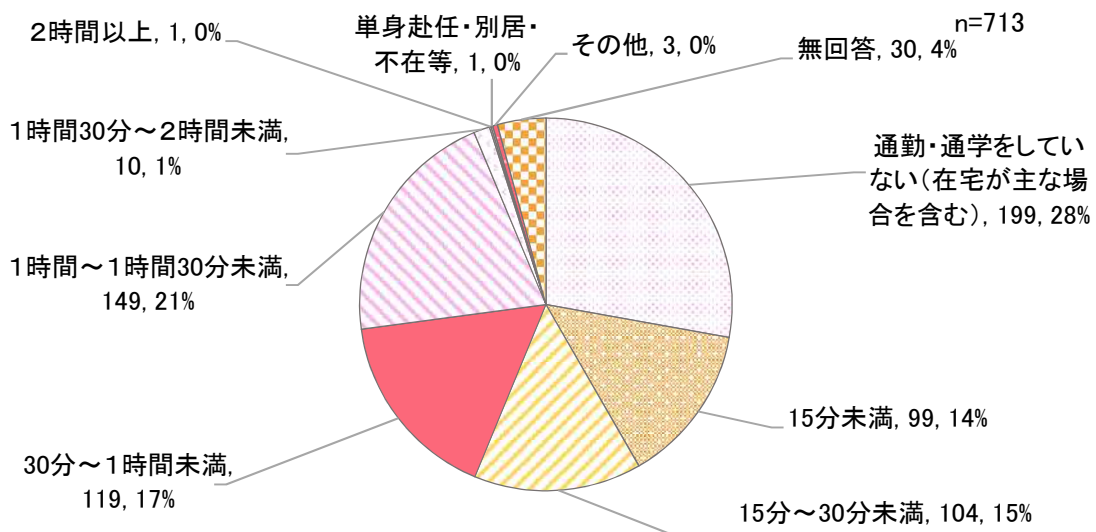
【父親の回答傾向】

父親の通勤時間については、「1時間～1時間30分未満」が41.8%と最も多く、次いで「30分～1時間」(21.0%)、「1時間30分～2時間未満」(11.1%)、「15分未満」(5.5%)、「通勤・通学をしていない(在宅が主な場合を含む)」(5.2%)となっている。



【母親の回答傾向】

母親の通勤時間については、「通勤・通学をしていない(在宅が主な場合を含む)」が28.0%と最も多く、次いで「1時間～1時間30分未満」(20.9%)、「30分～1時間未満」(16.7%)、「15分～30分未満」(14.6%)となっている。

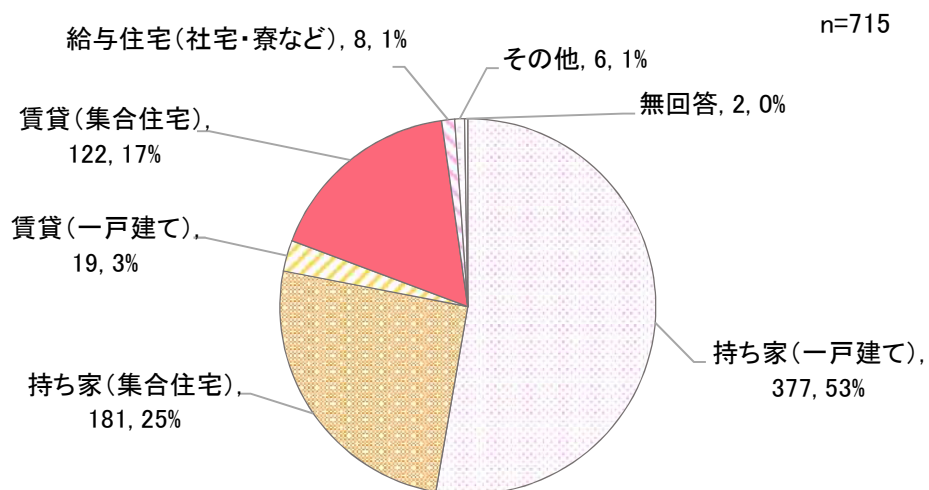


【その他(父母以外)の回答傾向】

(再集計中)

問6 現在のお住まいは、次のうちどれですか。

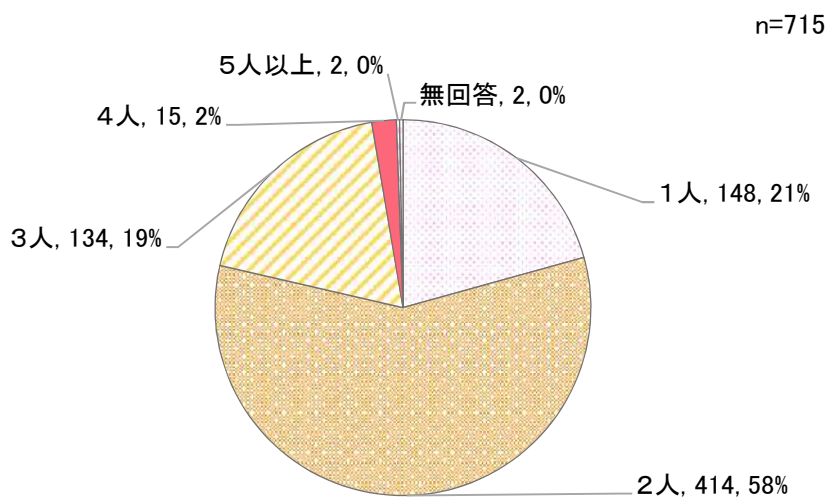
現在の住まいについては、「持ち家（一戸建て）」が 52.7%と最も多く、次いで「持ち家（集合住宅）」（25.3%）、「賃貸（集合住宅）」（17.1%）となっている。



2. 子育てについて

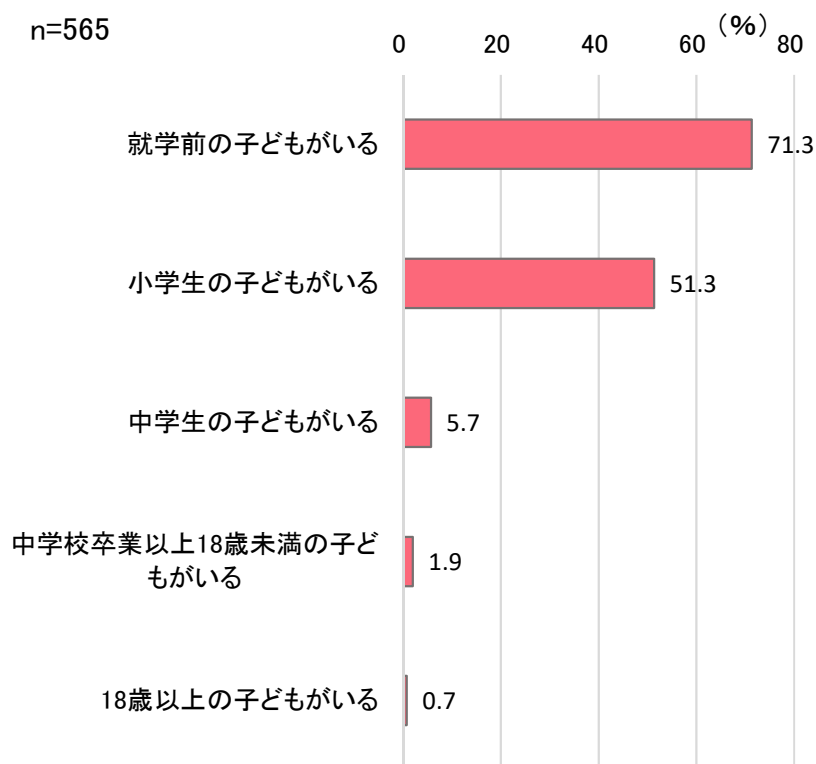
問7 あなたは現在お子さんが何人いますか。

現在の子ども数については、「2人」が 57.9%と最も多く、次いで「1人」(20.7%)、「3人」(18.7%)となっている。



問7-1 宛名のお子さん以外のお子さんの状況について、当てはまるものをすべて選んでください。(令和5年(2023年)12月1日時点)

現在の子ども状況については、「就学前の子どもがいる」が 71.3%と最も多く、次いで「小学生の子どもがいる」(51.3%)、「中学生の子どもがいる」(5.7%)となっている。

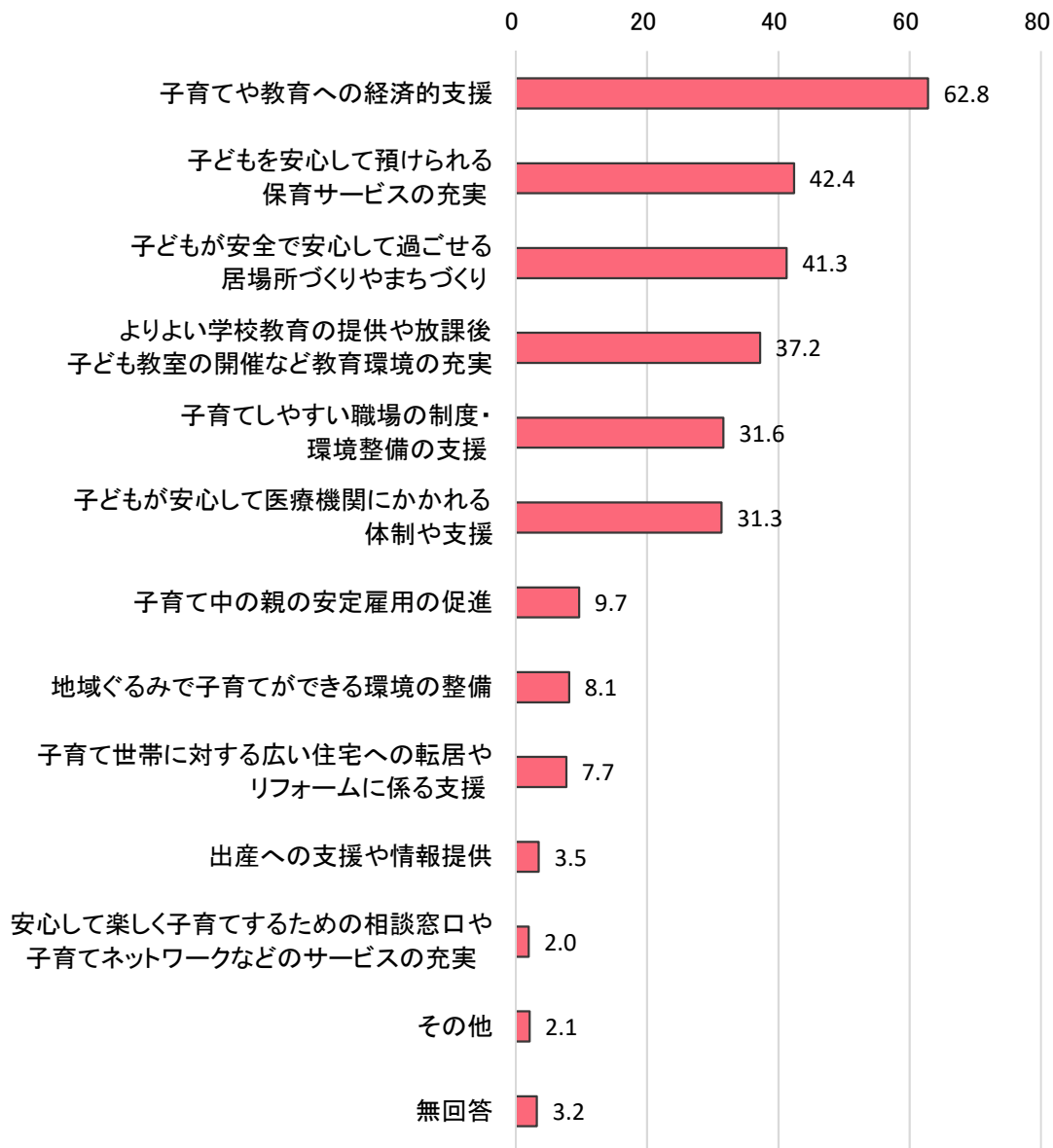


問8 子どもを生き育てやすい環境を整備するためには、どのような取り組みが重要だと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

子どもを生き育てやすくするための取り組みについては、「子育てや教育への経済的支援」が62.8%と最も多く、次いで「子どもを安心して預けられる保育サービスの充実」(42.4%)、「子どもが安全で安心して過ごせる居場所づくりやまちづくり」(41.3%)、「よりよい学校教育の提供や放課後子ども教室の開催など教育環境の充実」(37.2%)となっている。

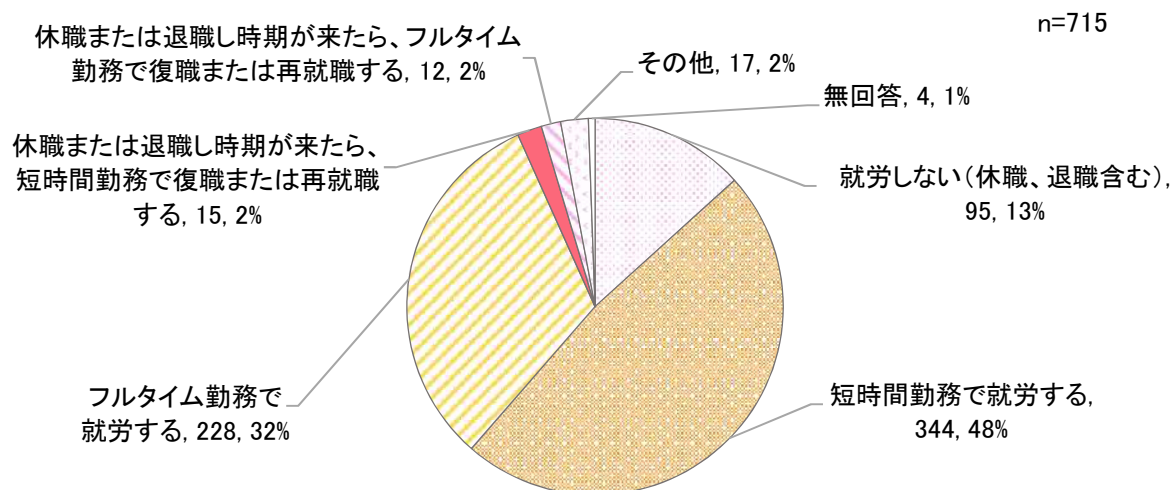
n=715

(%)



問9 一番年下のお子さんが小学校に入学するまでの間、どのように働きたいと思いますか。
次の中から1つ選んでください。

理想の働き方については、「短時間勤務で就労する」が48.1%と最も多く、次いで「フルタイム勤務で就労する」(31.9%)、「就労しない(休職、退職含む)」(13.3%)となっている。

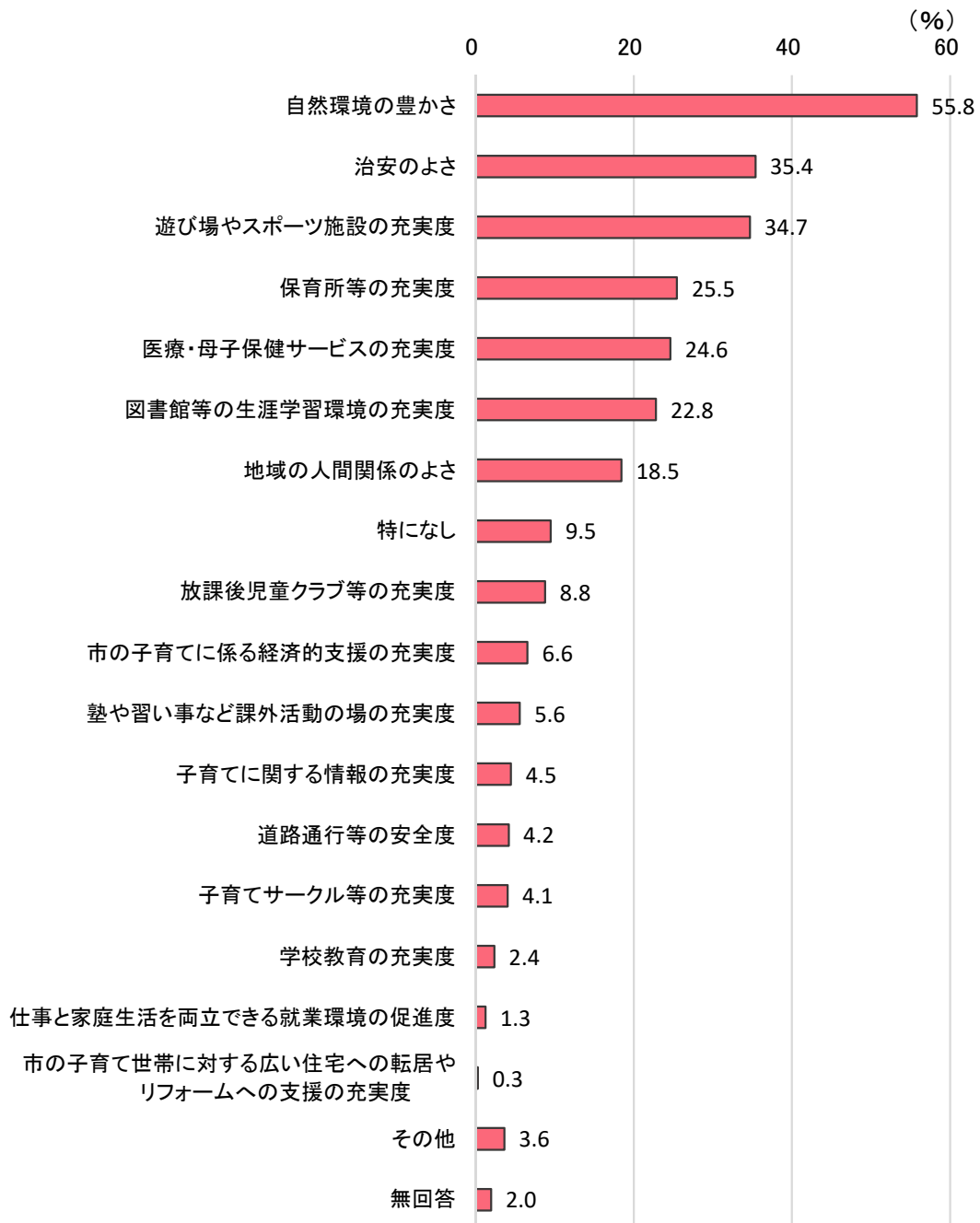


問10 朝霞市で子どもを育てる中でよかった点は何ですか。また、今後改善されるとよい点は何ですか。次の中からそれぞれ5つまで選んでください。

(1) 良かった点について

朝霞市での子育てでよかった点については、「自然環境の豊かさ」が55.8%と最も多く、次いで「治安の良さ」(35.4%)、「遊び場やスポーツ施設の充実度」(34.7%)、「保育所等の充実度」(25.5%)となっている。

n=715

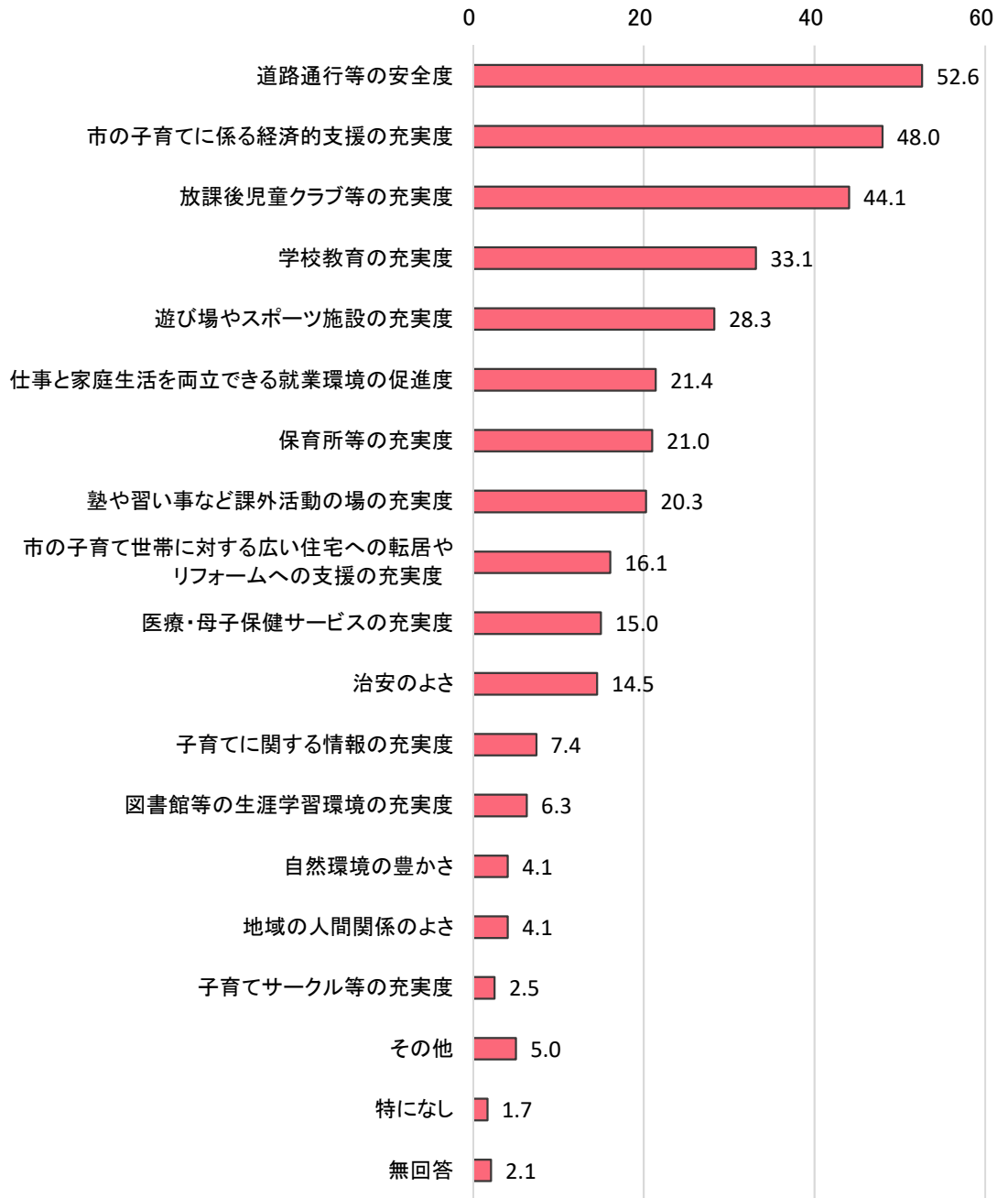


(2) 改善点について

朝霞市での子育てで改善すべき点については、「道路通行等の安全度」が 52.6%と最も多く、次いで、「市の子育てに係る経済的支援の充実度」(48.0%)、「放課後児童クラブ等の充実度」(44.1%)、「学校教育の充実度」(33.1%)となっている。

n=715

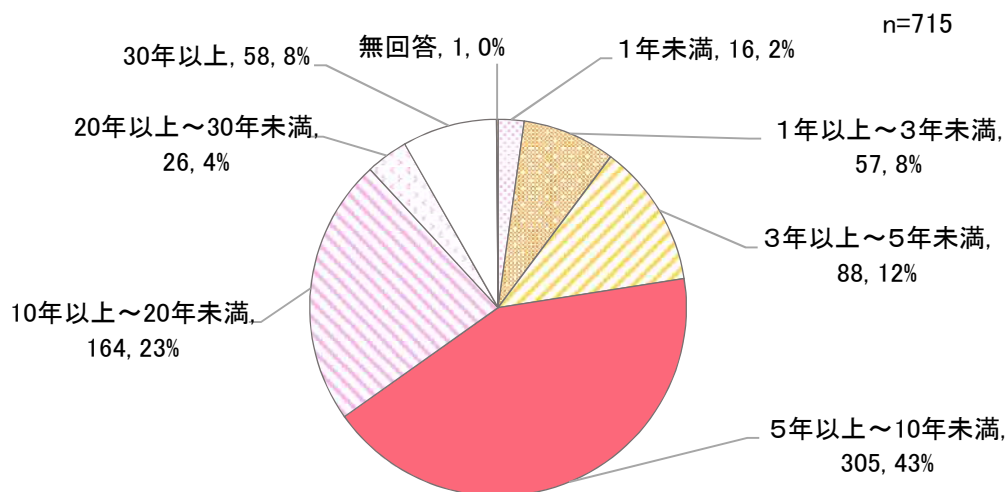
(%)



3. 朝霞市に居住した「きっかけ」及び「理由」について

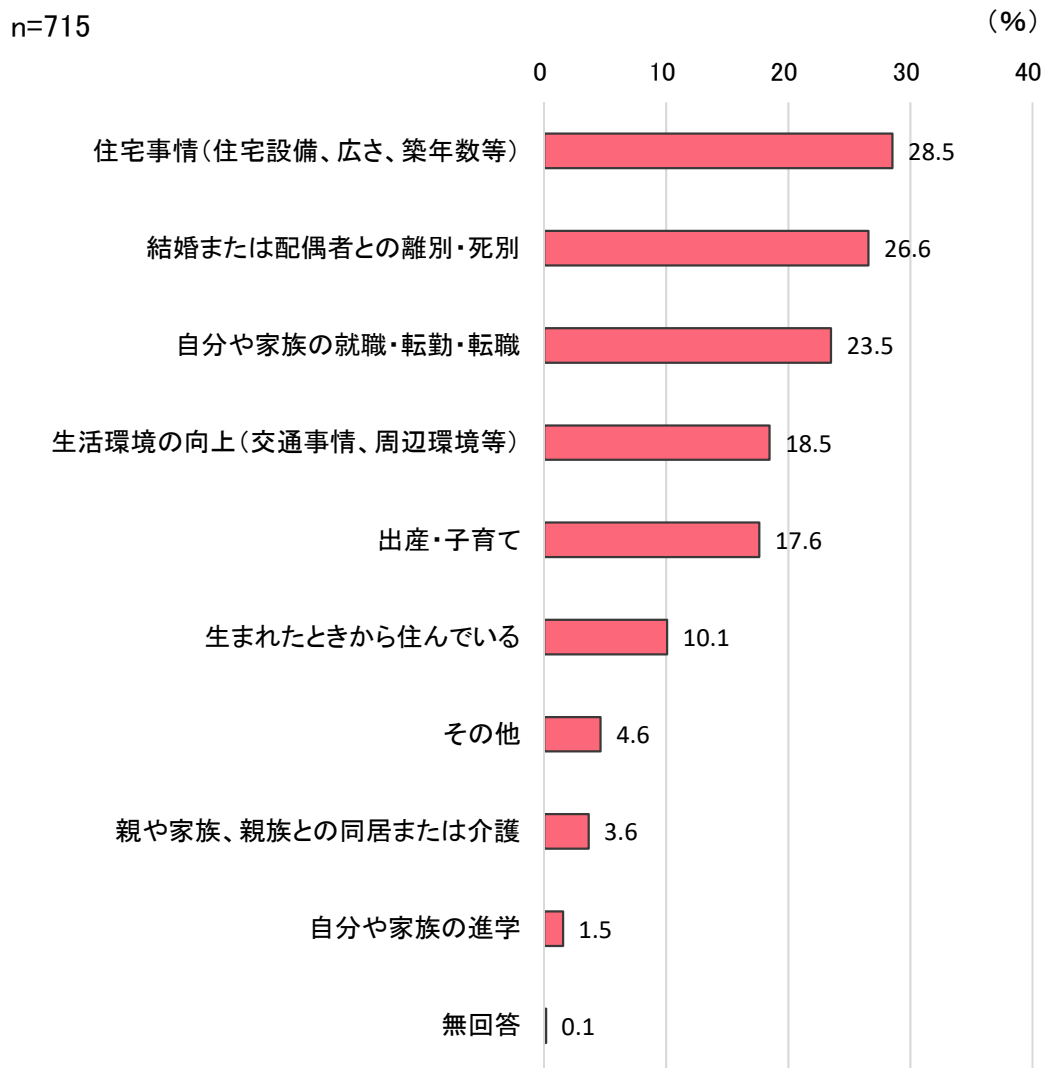
問 1 1 朝霞市に何年くらい住んでいますか。次の中から1つ選んでください。

朝霞市での居住年数については、「5年以上～10年未満」が42.7%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」(22.9%)、「3年以上～5年未満」(12.3%)、「30年以上」(8.1%)となっている。



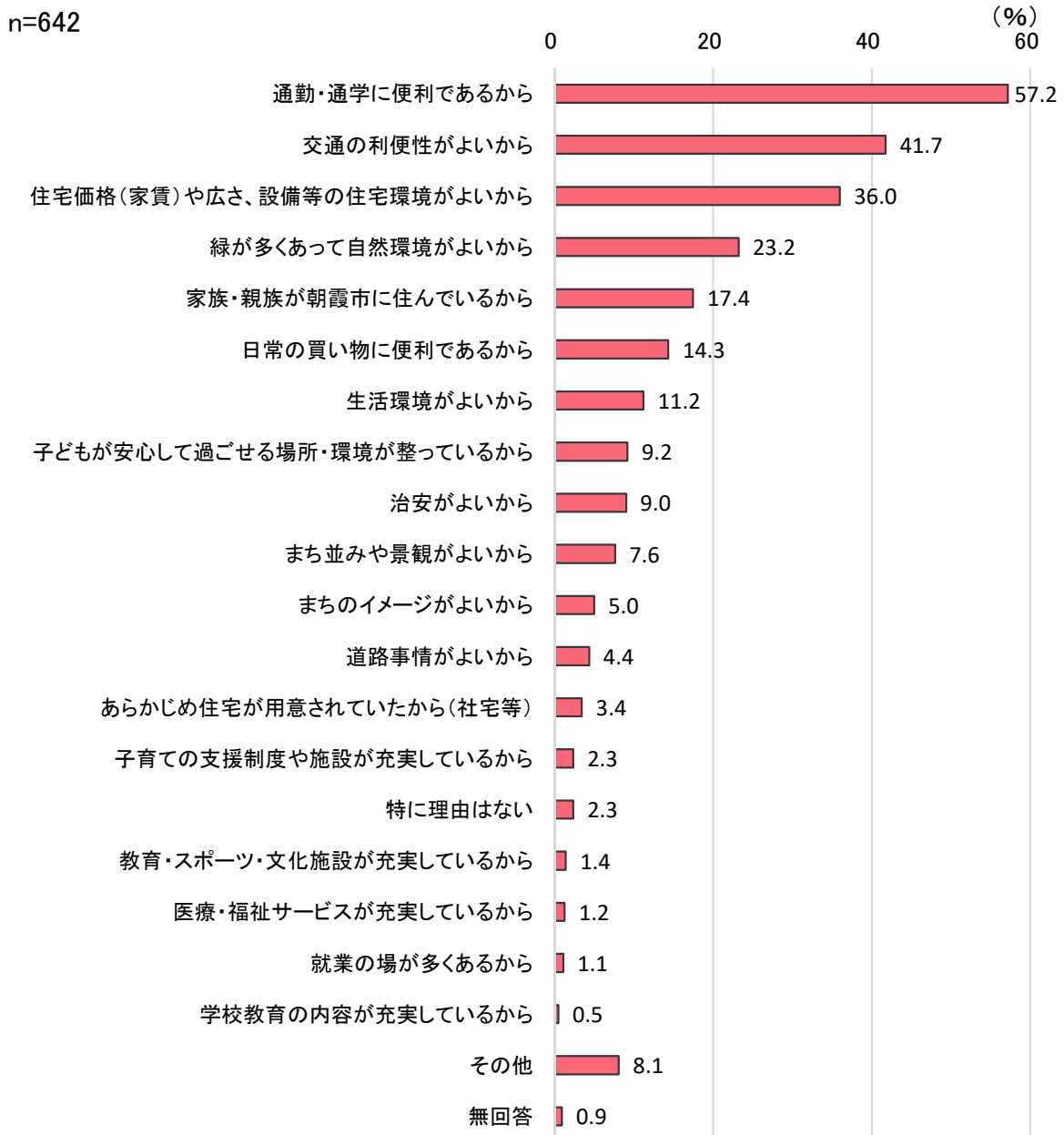
問12 朝霞市に住むことになった「きっかけ」は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

朝霞市での居住のきっかけについては、「住宅事情(住宅設備、広さ、築年数等)」が28.5%と最も多く、次いで「結婚または配偶者との離別・死別」(26.6%)、「自分や家族の就職・転勤・転職」(23.5%)となっている。



問13 転居するにあたって、朝霞市を選んだのは、どのような「理由」ですか。次の中から5つまで選んでください。(問12で「生まれたときから住んでいる」を選んだ方は、朝霞市のよいと思うところを選んでください。)

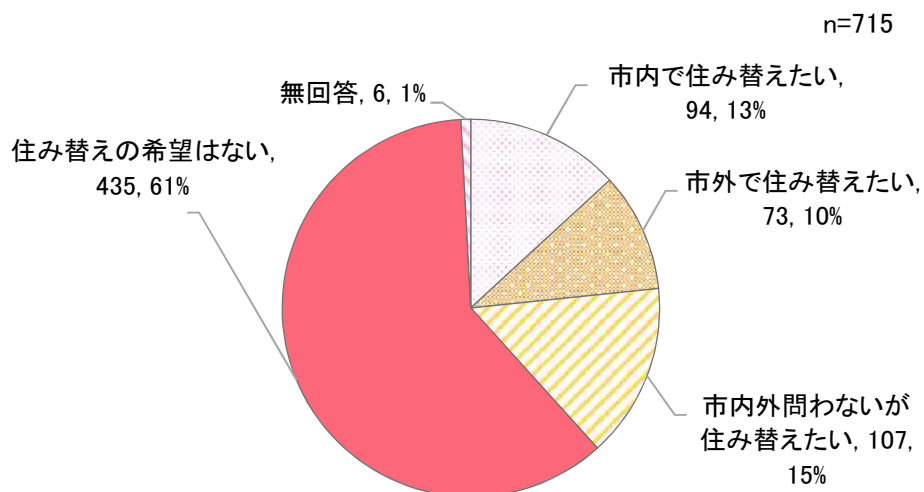
朝霞市を選んだ理由については、「通勤・通学に便利であるから」が57.2%と最も多く、次いで「交通の利便性がよいから」の41.7%、「住宅価格(家賃)や広さ、設備等の住宅環境がよいから」(36.0%)、「緑が多くあって自然環境がよいから」(23.2%)となっている。



4. 住宅の住み替えについて

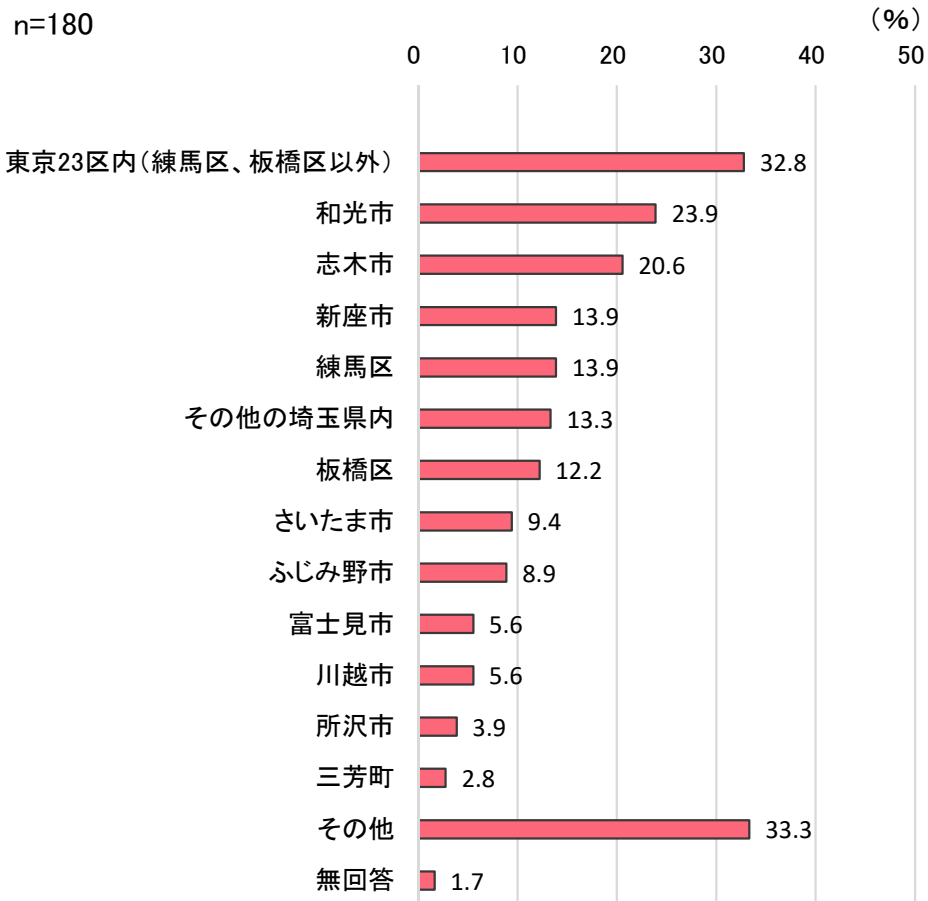
問14 将来、住宅を住み替える希望はありますか。次の中から1つ選んでください。

将来の住み替えについては、「住み替えの希望はない」が60.8%と最も多く、次いで「市内外問わないが住み替えたい」(15.0%)、「市内で住み替えたい」(13.1%)、「市外で住み替えたい」(10.2%)となっている。



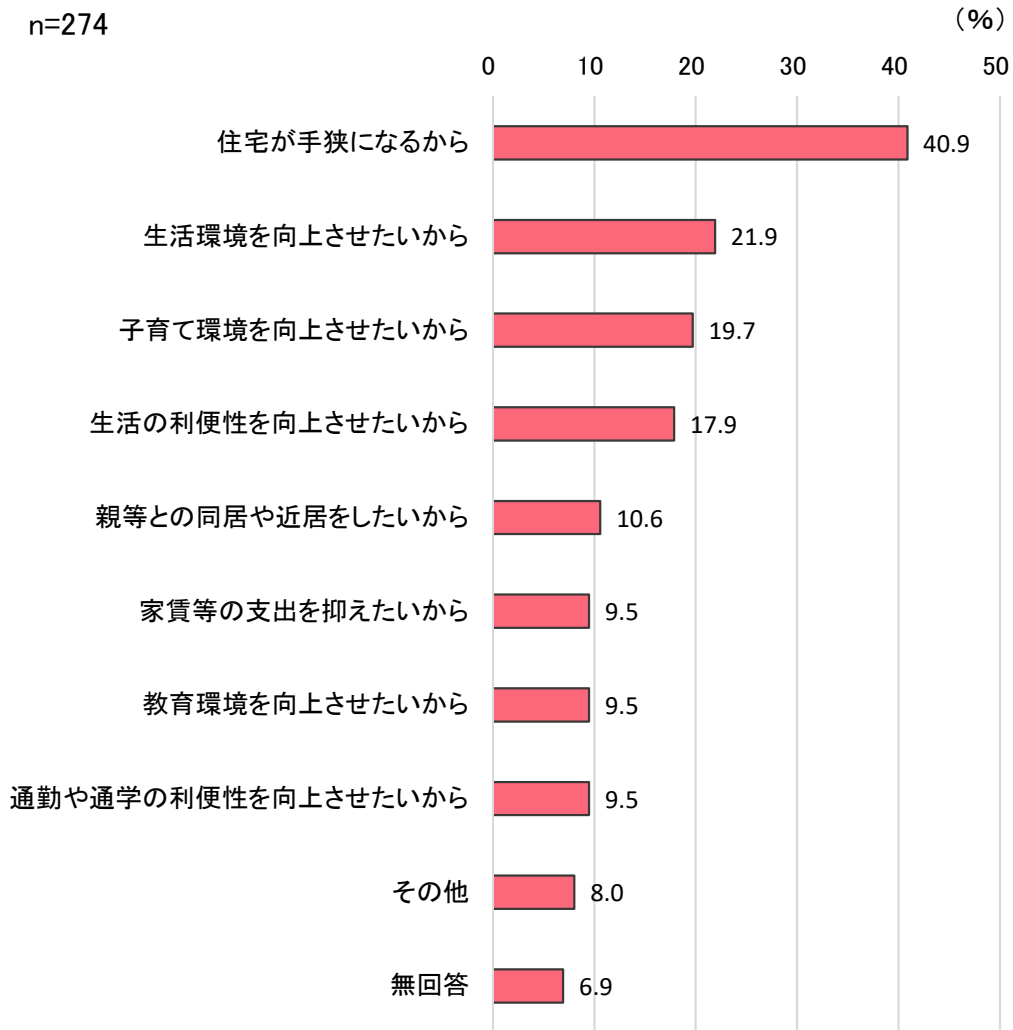
問14-1 問14で「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方にお伺いします。朝霞市以外への住み替えをお考えの場合、候補地として検討している地域はどちらですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

市外での住み替え候補地については、「東京 23 区（練馬区、板橋区以外）」が 32.8%と最も多く、次いで「和光市」（23.9%）、「志木市」（20.6%）、「新座区」「練馬区」（13.9%）となっている。



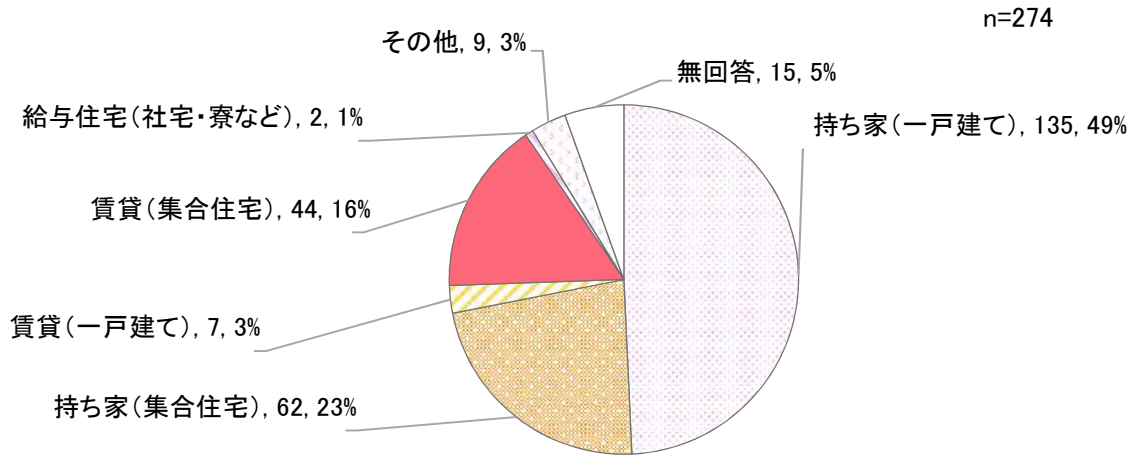
問14-2 問14で「市内で住み替えたい」、「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方に伺います。住み替えを希望する理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

住み替えを希望する理由については、「住宅が手狭になるから」が40.9%と最も多く、次いで「生活環境を向上させたいから」(21.9%)、「子育て環境を向上させたいから」(19.7%)となっている。



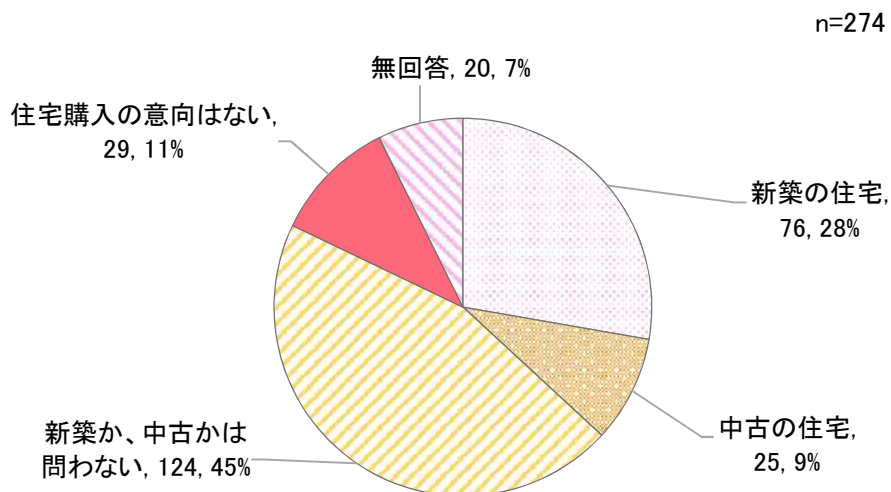
問14-3 問14で「市内で住み替えたい」、「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方に伺います。住み替え後の住宅は、どのような形態を希望しますか。次の中から1つ選んでください。

住み替え後の住宅形態については、「持ち家（一戸建て）」が49.3%と最も多く、次いで「持ち家（集合住宅）」（22.6%）、「賃貸（集合住宅）」（16.1%）となっている。



問14-4 問14で「市内で住み替えたい」、「市外で住み替えたい」、「市内外問わないが住み替えたい」を選んだ方に伺います。住宅購入を検討する際の対象を次の中から1つ選んでください。

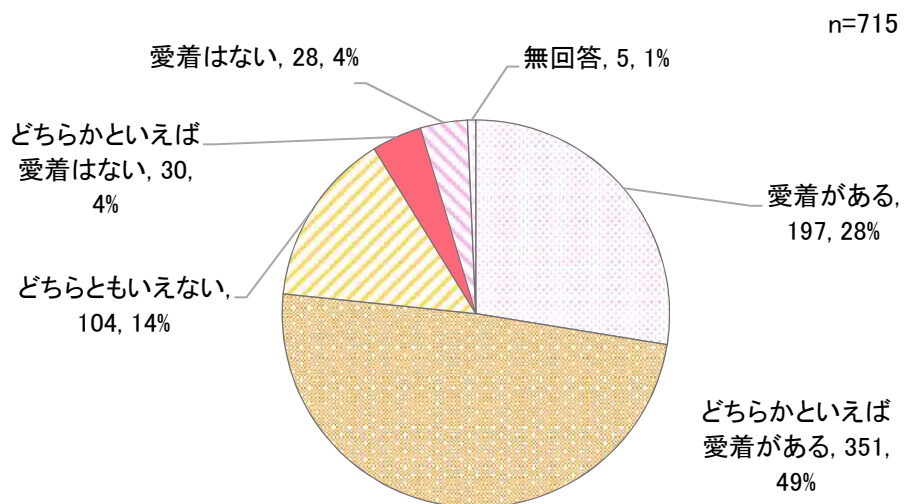
住宅購入については、「新築か、中古かは問わない」が45.3%と最も多く、次いで「新築の住宅」（27.7%）、「住宅購入の意向はない」（10.6%）となっている。



5. 地域とのつながりについて

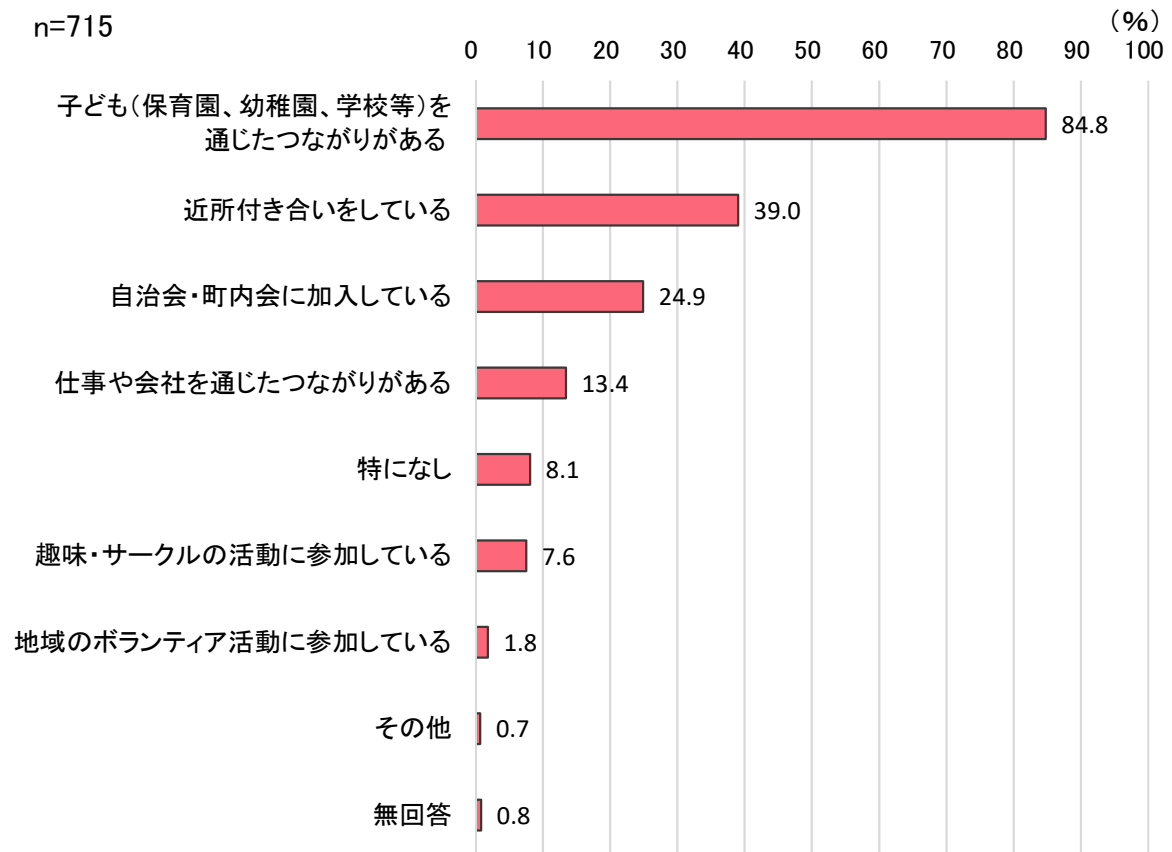
問15 あなたは朝霞市に愛着はありますか。

朝霞市への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が49.1%と最も多く、次いで「愛着がある」(27.6%)、「どちらかといえば愛着はない」(27.6%)、「どちらともいえない」(14.5%)となっている。



問16 あなたは地域とどのようなつながりをお持ちですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

地域とのつながりについては、「子ども（保育園、幼稚園、学校等）を通じたつながりがある」が84.8%と最も多く、次いで「近所付き合いをしている」（39.0%）、「自治会・町内会に加入している」（24.9%）となっている。

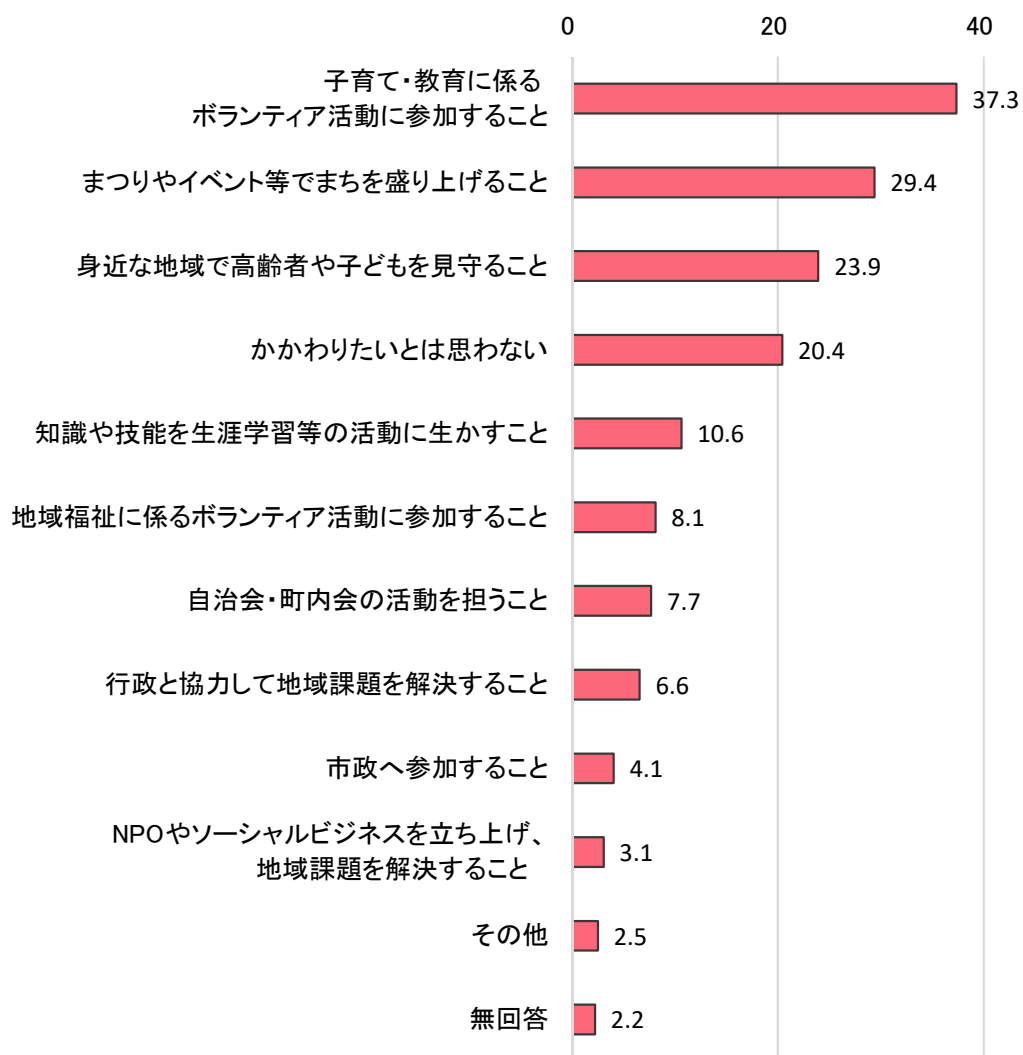


問17 地域での活動にかかわるとしたら、あなたはどのようなことに取り組みたいですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

まちづくりへの取り組みについては、「子育て・教育に係るボランティア活動に参加すること」が37.3%と最も多く、次いで「まつりやイベント等でまちを盛り上げること」(29.4%)、「身近な地域で高齢者や子どもを見守ること」(23.9%)、「かかわりたいとは思わない」(20.4%)となっている。

n=715

(%)



6. 自由意見

問18 自由意見欄

最後に、子育てや定住等に関することについて、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

(調整中)

**朝霞市転入・転出意識調査
結果報告書
(速報版)**

**令和6年(2024年)2月
朝霞市**

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 集計・分析のための地区区分	1
4. 調査項目	1
5. 回収結果	1
6. 報告書の見方	2
II 回答結果（転入者）	2
1. 世帯構成とお住まいについて	2
2. 朝霞市への転入の「きっかけ」及び「理由」について	7
III 回答結果（転出者）	10
1. 世帯構成とお住まいについて	10
2. 朝霞市から転出する「きっかけ」及び「理由」について	15

I 調査の概要

1. 調査の目的

この市民意識調査は令和8年度(2026年度)から10年間のまちづくりの指針となる「第6次朝霞市総合計画」を策定するに当たって、本市に長く住み続けていただくための施策検討に向けた基礎資料として、転入・転出者の属性と転入・転出の理由等を把握することを目的に実施したものである。

2. 調査の方法

- ① 調査対象 (1)転入者(調査期間中に朝霞市に転入する世帯)
(2)転出者(調査期間中に朝霞市から転出する世帯)
- ② 対象者数 (1)及び(2)のそれぞれ100世帯以上を想定
- ③ 調査方法 総合窓口課の窓口で転入(転出)手続きを行う者に配付、
郵送による回収、インターネットによる回答を併用
- ④ 調査期間 令和5年12月15日配布開始、令和6年1月15日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ① 世帯構成とお住まいについて
- ② 転入(転出)のきっかけと理由について

5. 回収結果

【転入者】

- ① 調査票配布数 142票
- ② 有効回収数 16票(紙回答:8票、Web回答:8票)
- ③ 有効回収率 11.3%(紙回答:5.6%、Web回答:5.6%)

【転出者】

- ① 調査票配布数 66票
- ② 有効回収数 9票(紙回答:8票、Web回答:1票)
- ③ 有効回収率 13.6%(紙回答:12.1%、Web回答:1.5%)

6. 報告書の見方

①用語について

- ・ 図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を示す。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文や図表中で省略した表現を用いている。

②集計について

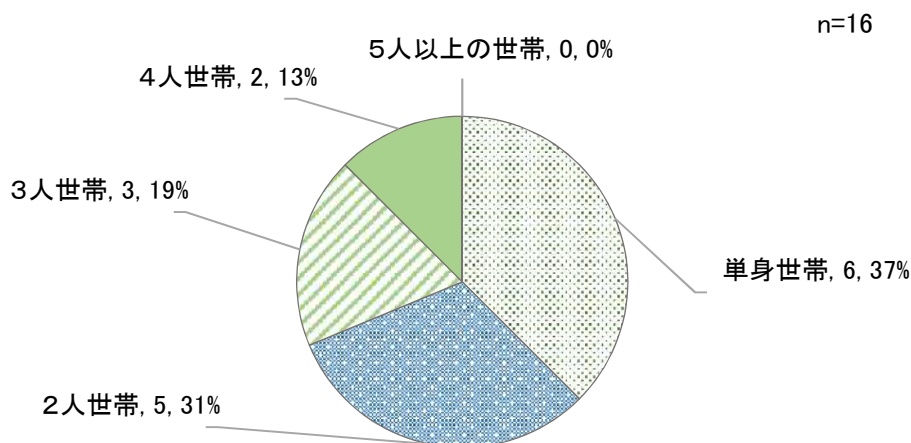
- ・ 比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100%にならない場合がある。なお、集計上の無回答には、無回答のほか無効な回答を含んでいる。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出している。このため、合計が100%を超えることがある。

II 回答結果（転入者）

1. 世帯構成とお住まいについて

(1) 今回転入される方の世帯構成について（○印は1つ）

転入者の世帯構成については、「単身世帯」が6世帯(37.5%)で最も多く、次いで「2人世帯」5世帯(31.3%)、「3人世帯」3世帯(18.8%)となっている。

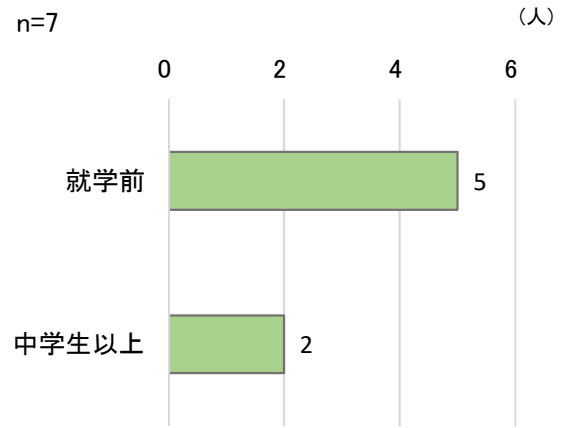
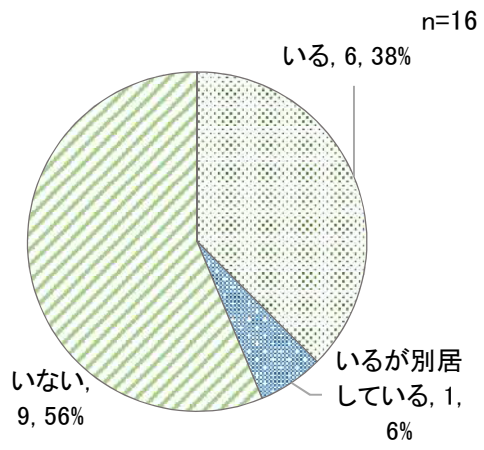


(2) お子様について

子どもがいる世帯は6世帯(37.5%)である。また、年齢層は「就学前」が5人、「中学生以上」が2人となっている。

【世帯における子どもの有無】

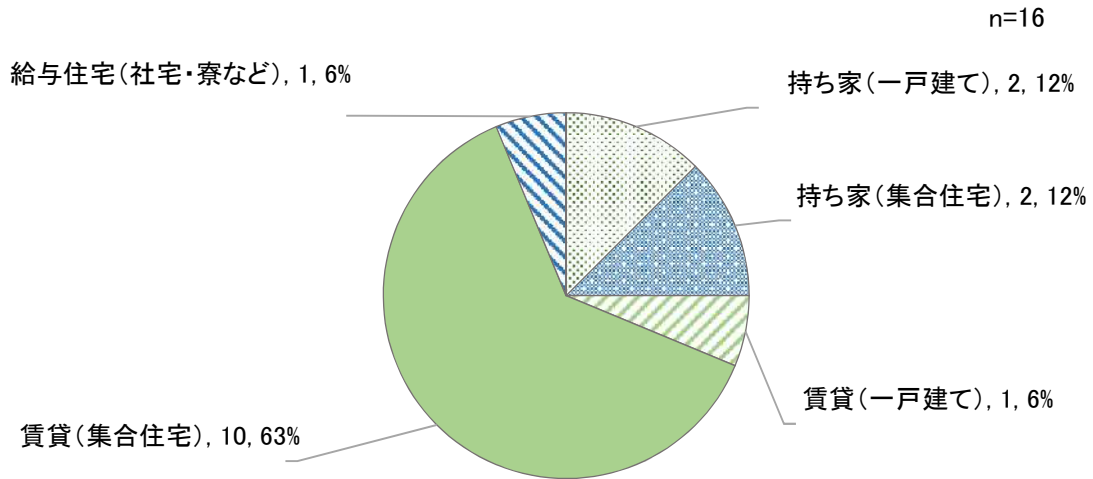
【子どもの年齢層】



(3) お住まいになる住宅について

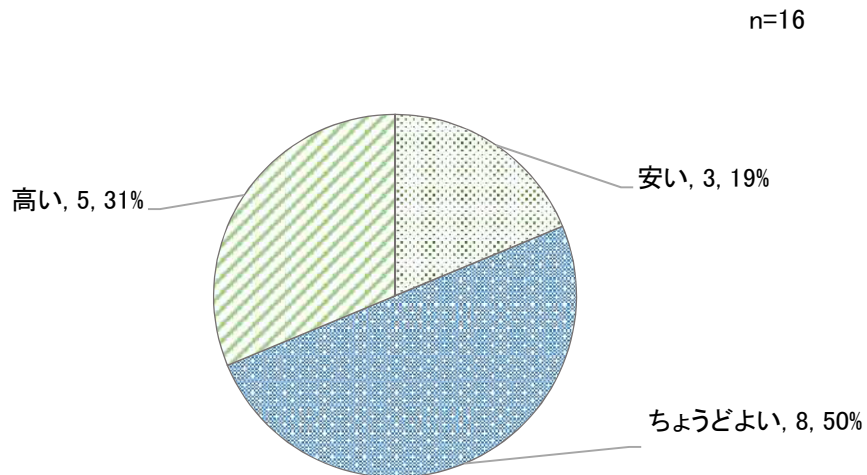
① 住宅の形態

住宅の形態は「賃貸住宅(集合住宅)」が10世帯で62.5%を占めている。その他の形態では、「持ち家(一戸建て)」、「持ち家(集合住宅)」が2世帯で12.5%となっている。



② 価格・家賃の印象

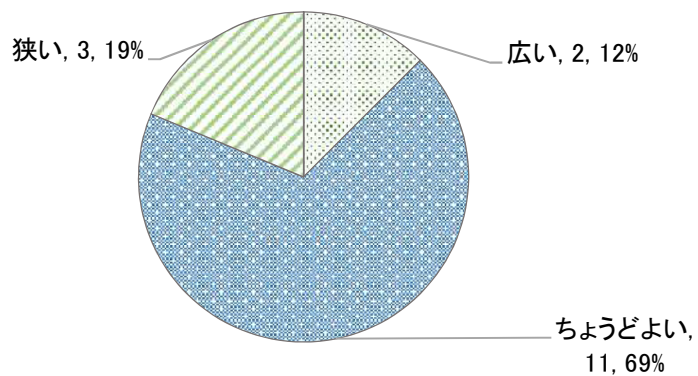
住宅の価格又は家賃の印象については、「ちょうどよい」が8件(50.0%)と最も多く、次いで、「高い」が5件(31.3%)、「安い」が3件(18.8%)となっている。



③ 広さの印象

住宅の広さの印象については、「ちょうどよい」が 11 件 (68.8%) と最も多く、次いで「狭い」が 3 件 (18.8%)、「広い」が 2 件 (12.5%) となっている。

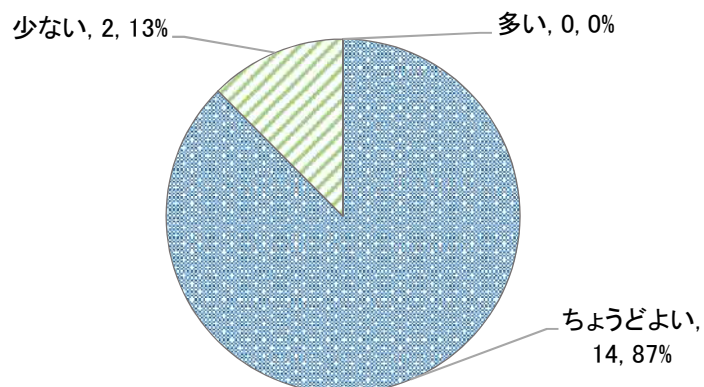
n=16



④ 部屋数の印象

住宅の部屋数については、「ちょうどよい」が 14 件 (87.5%) で過半数を占めている。「少ない」が 2 件 (12.5%) である。

n=16

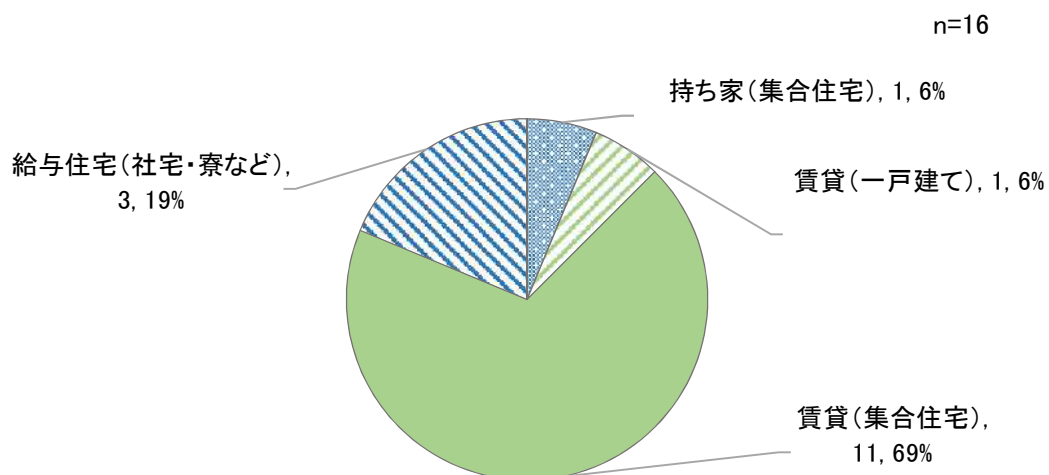


(4) 朝霞市へ転入する直前までお住まいだった自治体について (自治体名を記入)

(調整中)

(5) 転入前のお住まいの形態について (〇印は1つ)

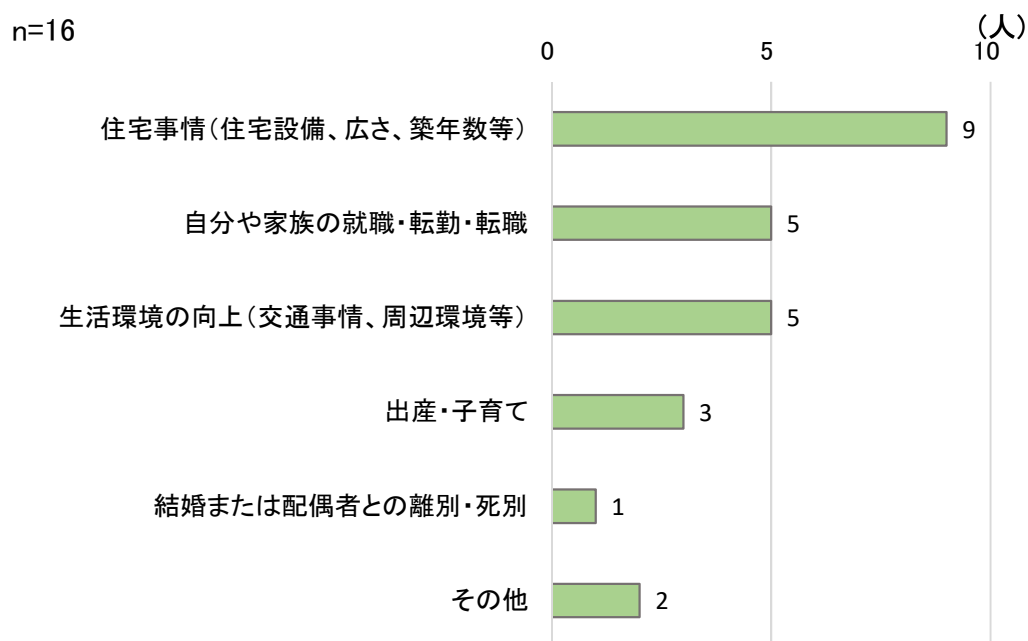
転入前の住居の形態については、「賃貸(集合住宅)」が11世帯(68.8%)と過半数を占めており、以下、「給与住宅(社宅・寮など)」が3世帯(18.8%)、「持ち家(集合住宅)」「賃貸(一戸建て)」が1世帯(6.3%)で続いている。



2. 朝霞市への転入の「きっかけ」及び「理由」について

(1) 主な転入のきっかけについて（当てはまるものすべて）

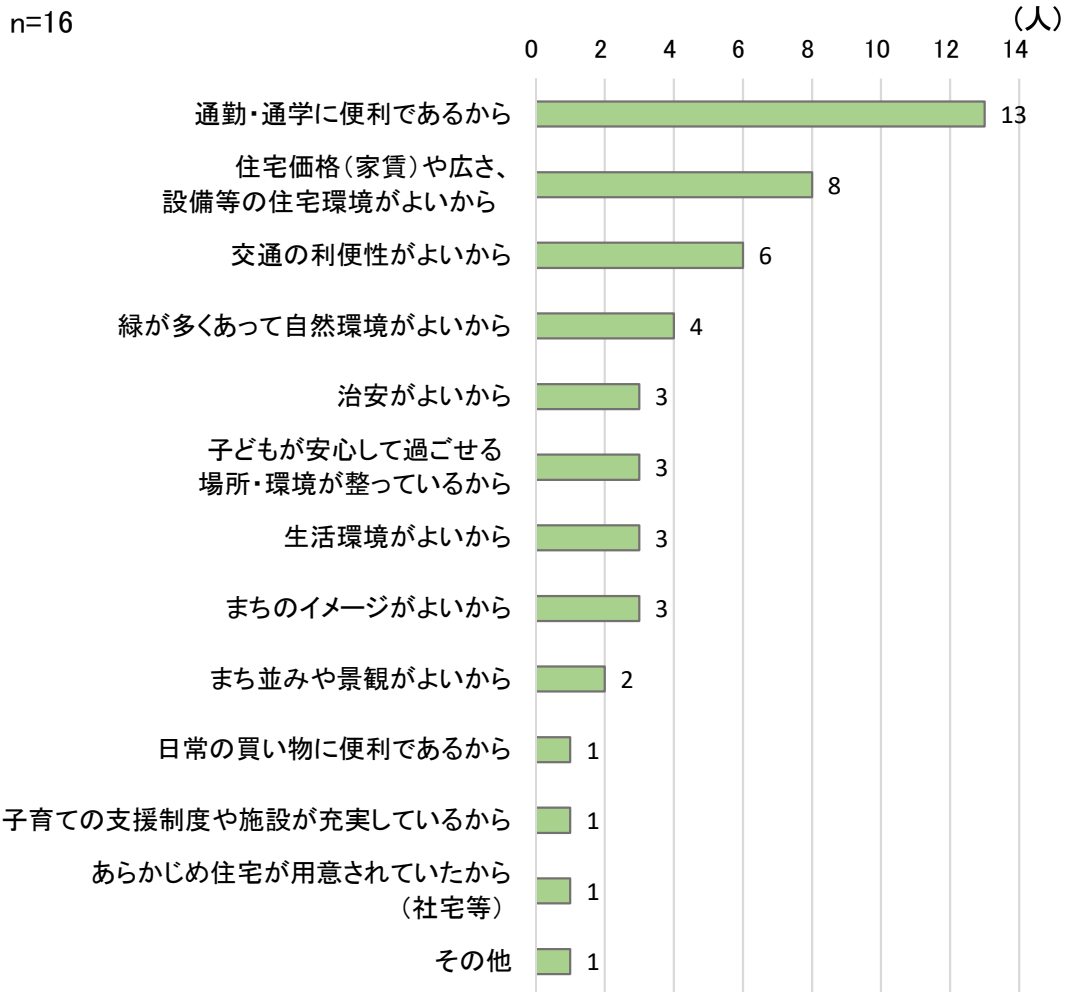
主な転入のきっかけについては、「住宅事情（住宅設備、広さ、築年数等）」が9件（56.3%）で最も多く、「自分や家族の就職・転勤・転職」、「生活環境の向上（交通事情、周辺環境等）」が5件（31.3%）、「出産・子育て」が3件（18.8%）で続いている。



(2) 朝霞市を居住地に決めた理由について（当てはまるものすべて）

本市を居住地に決めた理由については、「通勤・通学に便利であるから」が 13 件(81.3%)と最も多く、3 番目に多い「交通の利便性がよいから」の 6 件(37.5%)と合わせて、他地域に行きやすいことが評価されている。

2 番目に多いのは、「住宅価格(家賃)や広さ、設備等の住宅環境がよいから」の 8 件(50.0%)である。

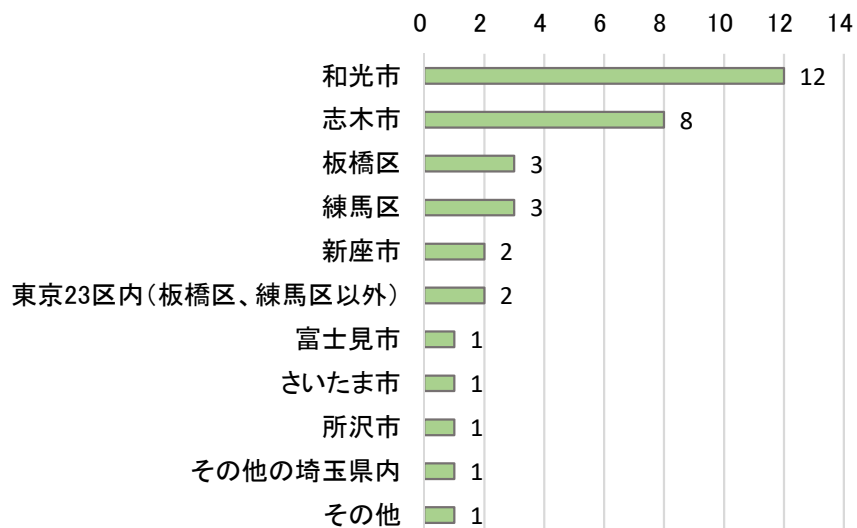


(3) 朝霞市以外で居住を検討した自治体について(当てはまるものすべて)

朝霞市以外で居住を検討した地域について見ると、本市周辺の「和光市」が12件で最も多く、「志木市」(8件)が続いている。

n=16

(人)



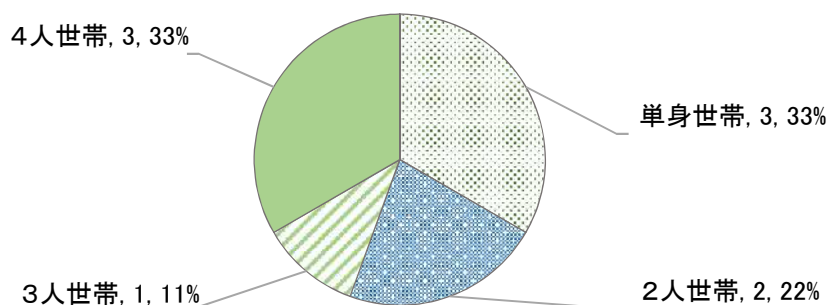
Ⅲ 回答結果（転出者）

1. 世帯構成とお住まいについて

（1）今回転入される方の世帯構成について（○印は1つ）

転出者の世帯構成については、「単身世帯」、「4人世帯」が3世帯（33.3%）で最も多く、次いで「2人世帯」が2世帯（22.2%）、「3人世帯」が1世帯（11.1%）である。

n=9

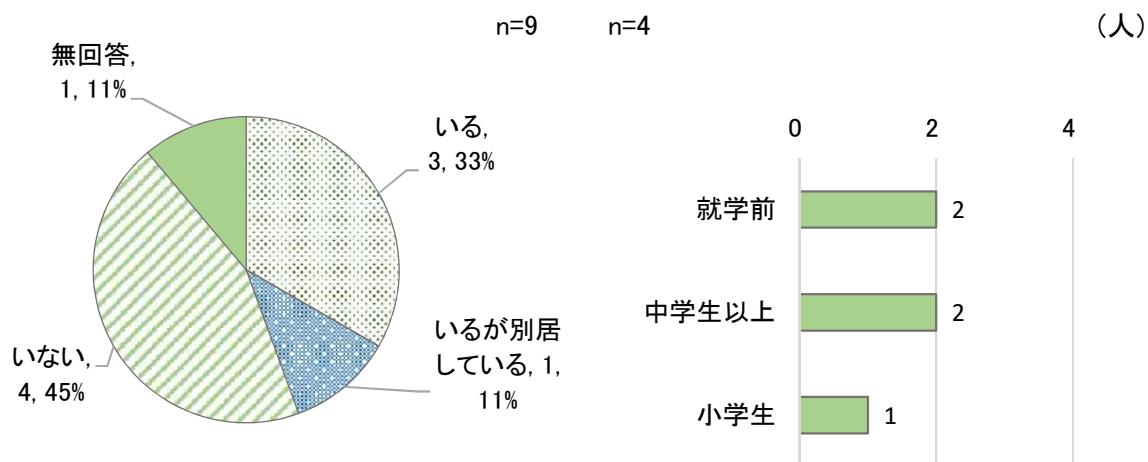


（2）お子様について

子どもがいる世帯は4世帯（44.4%）で、その内1世帯は子どもと別居している。また、子どもの数は5人で、「就学前」と「中学生以上」がそれぞれ2人、「小学生」が1人であった。

【世帯における子どもの有無】

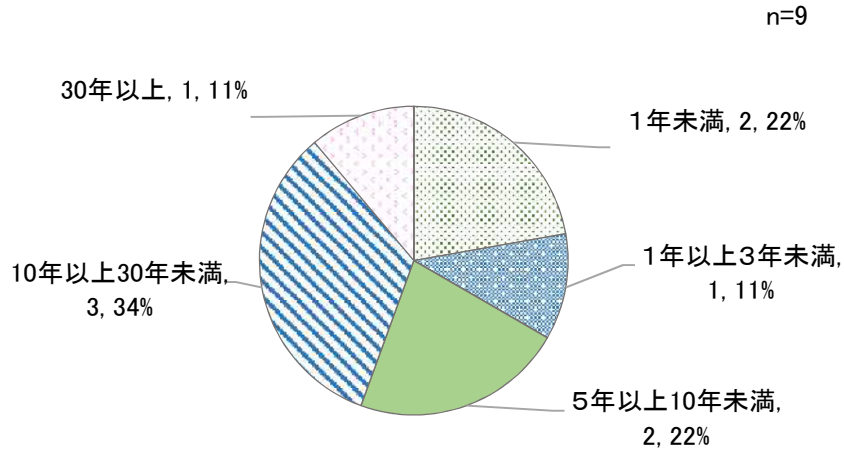
【子どもの年齢層】



(3) 朝霞市に居住していた年数について (〇印は1つ)

本市に居住した年数については、「10年以上30年未満」が3世帯(33.3%)で最も多く、「1年未満」、「5年以上10年未満」がそれぞれ2世帯(22.2%)である。

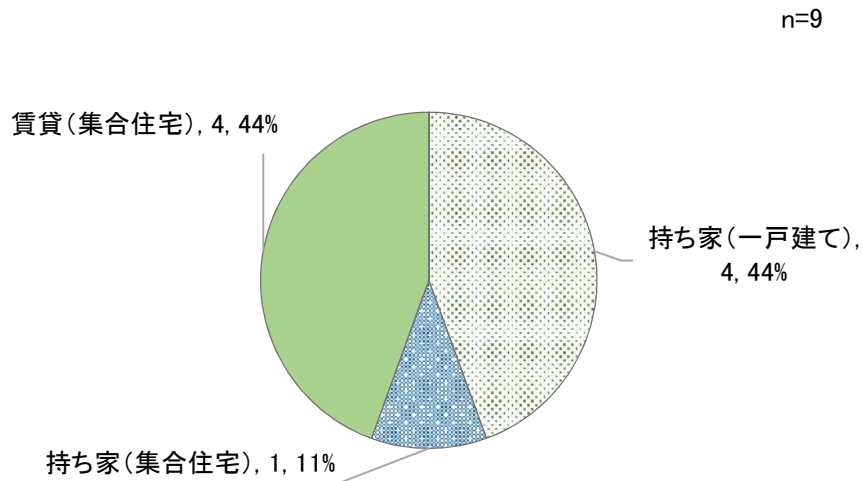
10年未満が5世帯で、過半数を超えている。



(4) お住まいだった住宅について

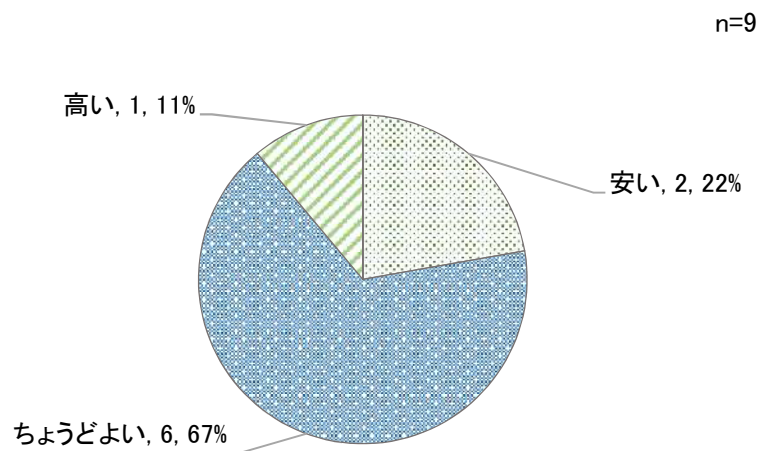
① 住宅の形態

住宅の形態は、「持ち家(一戸建て)」と「賃貸(集合住宅)」がそれぞれ4世帯(44.4%)、「持ち家(集合住宅)」が1世帯(11.1%)となっている。



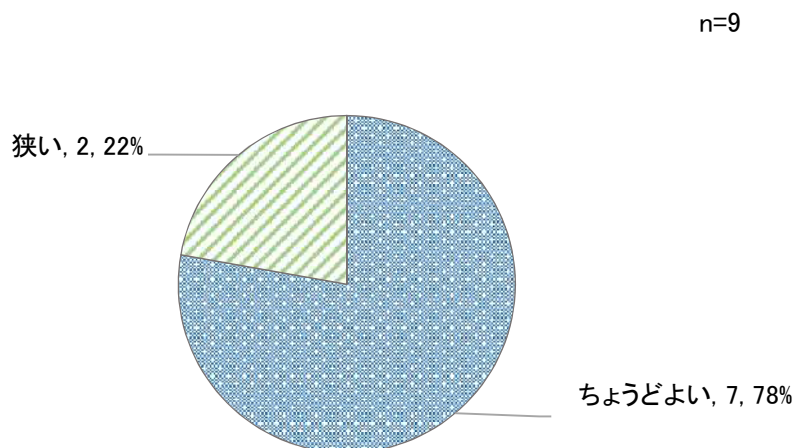
② 価格・家賃の印象

住宅の価格又は家賃の印象については、「ちょうどよい」が6件(66.6%)と最も多くなっている。



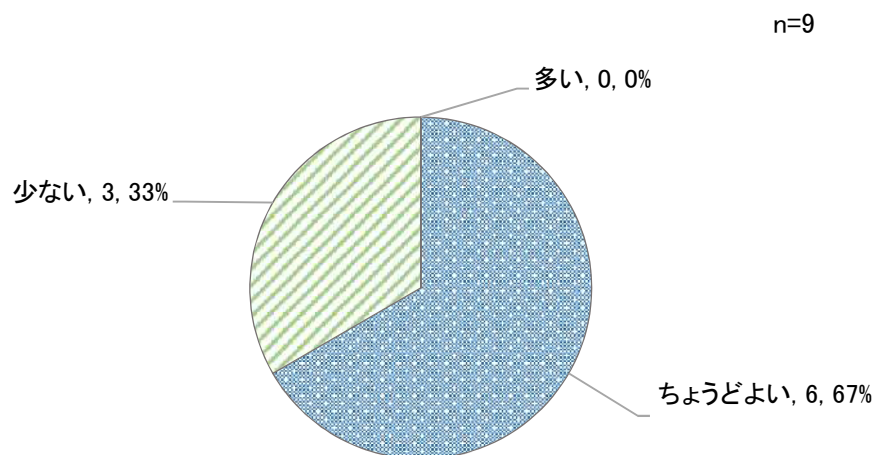
③ 広さの印象

住宅の広さの印象については、「ちょうどよい」が7件(77.7%)、「狭い」が2件(22.2%)となっている。



④ 部屋数への満足度

住宅の部屋数については、「ちょうどよい」が6件(66.6%)、「少ない」が3件(33.3%)となっている。

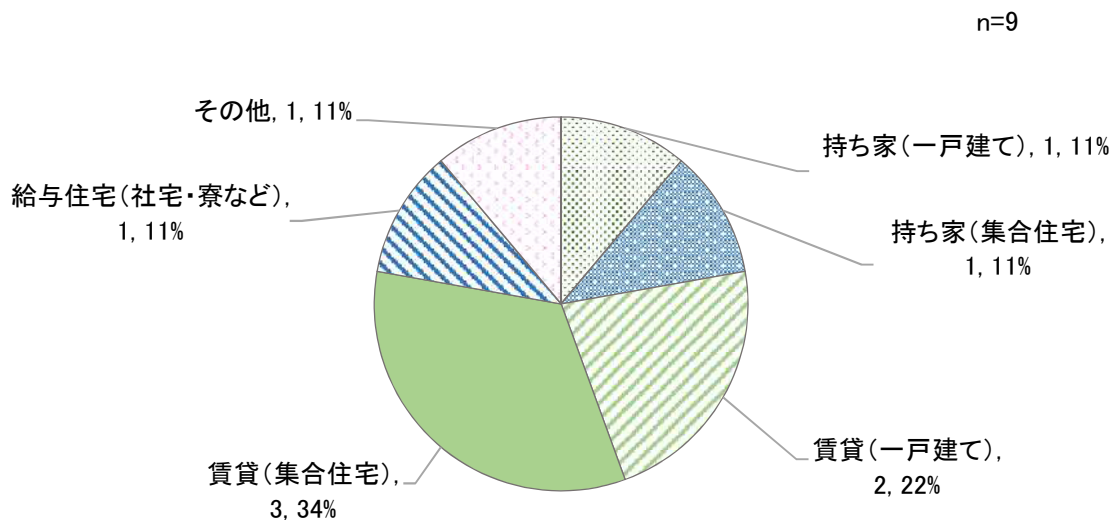


(5) 転出先の自治体について (自治体名を記入)

(調整中)

(6) 転出先のお住まいの形態について (〇印は1つ)

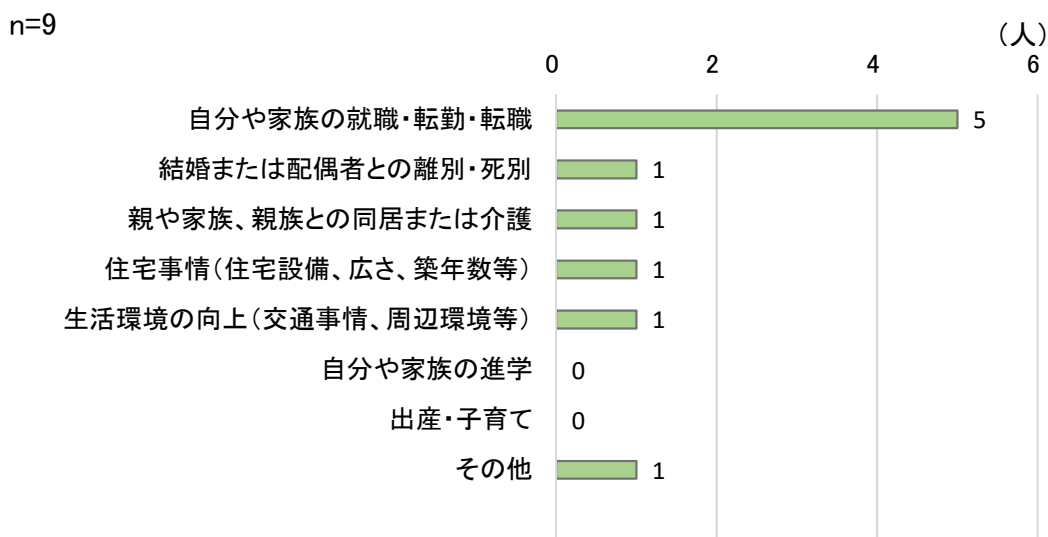
転出先の住居の形態については、「賃貸(集合住宅)」が3世帯(33.3%)、「賃貸(一戸建て)」が2世帯(22.2%)で、賃貸が半数を占めている。「持ち家(一戸建て)」、「持ち家(集合住宅)」、「給与住宅(社宅・寮など)」がそれぞれ1世帯(11.1%)となっている。



2. 朝霞市から転出する「きっかけ」及び「理由」について

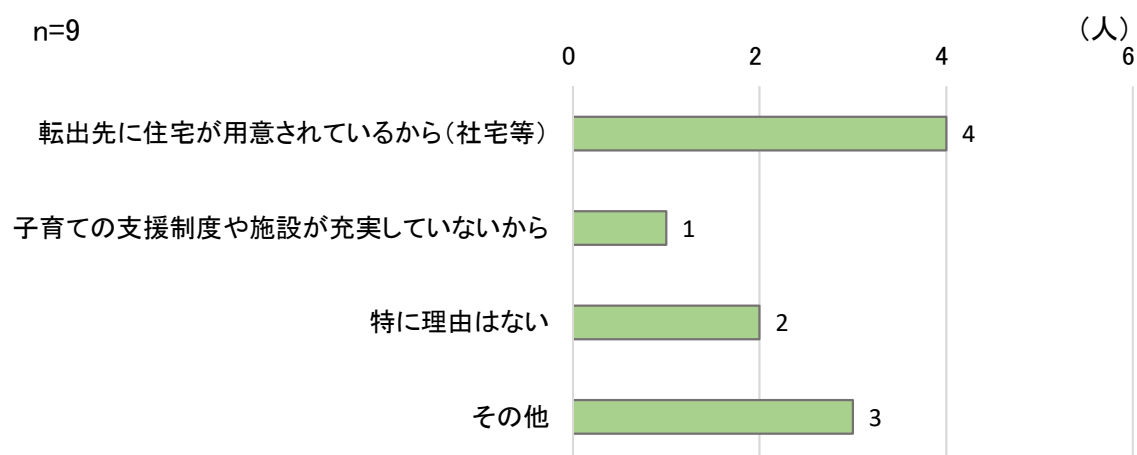
(1) 主な転出のきっかけについて（当てはまるものすべて）

主な転出のきっかけについては、「自分や家族の就職・転勤・転職」が 5 件（55.5%）で最も多く、「結婚または配偶者との離別・死別」「親や家族、親族との同居または介護」、「住宅事情（住宅設備、広さ、築年数等）」、「生活環境の向上（交通事情、周辺環境等）」がそれぞれ 1 件（11.17%）となっている。



(2) 朝霞市から転出する理由について（当てはまるものすべて）

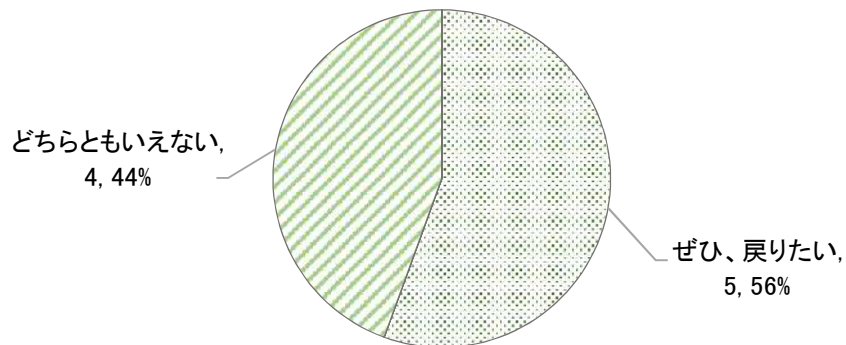
本市から転出する理由については、「転出先に住宅が用意されているから（社宅等）」が 4 件（44.4%）、「子育ての支援制度や施設が充実していないから」が 1 件（11.1%）となっている。



(3) 将来、朝霞市に戻る可能性の有無について (〇印は1つ)

将来、機会があれば朝霞市に戻りたいと思うかについては、「ぜひ戻りたい」が 5 件 (55.5%) と過半数を占め、「どちらともいえない」が 4 件 (44.4%) となっている。

n=9



小中学生の意見聴取に関する報告書 (速報版)

令和6年(2024年)2月
朝霞市

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査項目	1
4. 回収結果	1
II. 調査結果	2
問1 朝霞市の好きなところ・朝霞市への要望について	2
問2 10～20年後の朝霞市での過ごし方について	5
総括	8

I. 調査概要

1. 調査の目的

この小中学生の意見聴取は、第6次朝霞市総合計画を策定するに当たって、まちづくりに対する市内小中学生の意向を把握し、基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

- | | |
|--------|--|
| ① 調査対象 | 市内小学校10校の5年生及び市内中学校5校の2年生 |
| ② 対象者数 | 2,385人（令和6年1月時点） |
| ③ 調査方法 | GIGA タブレットを通じたアンケートの配信・回収
（Zoho Survey を使用） |
| ④ 調査期間 | 令和6年1月15日配布、令和6年1月22日締切 |

3. 調査項目

- ① あなたの考える、朝霞市の好きなところ、もっとこうなって欲しいと思うところ
- ② 10～20年後、大人になったあなたは、朝霞市でどんなふうに過ごしたいか
（いずれも自由回答形式）

4. 回収結果

- | | |
|----------|---------|
| ① 調査票配布数 | 2,385 票 |
| ② 有効回収数 | 1,381 票 |
| ③ 有効回収率 | 57.9% |

II. 調査結果

問1 朝霞市の好きなおところ・朝霞市への要望について

「あなたの考える、朝霞市の好きなおところ、もっとこうなって欲しいと思うところ」について、自由回答全体の傾向を把握するため、テキストマイニングを用いて回答結果を分析した。以下出典をもとに、テキストマイニングの一種である、いくつかの手法により分析した。

【出典】ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析 <https://textmining.userlocal.jp/>

(1) ワードクラウド分析



(上図の青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を示す)

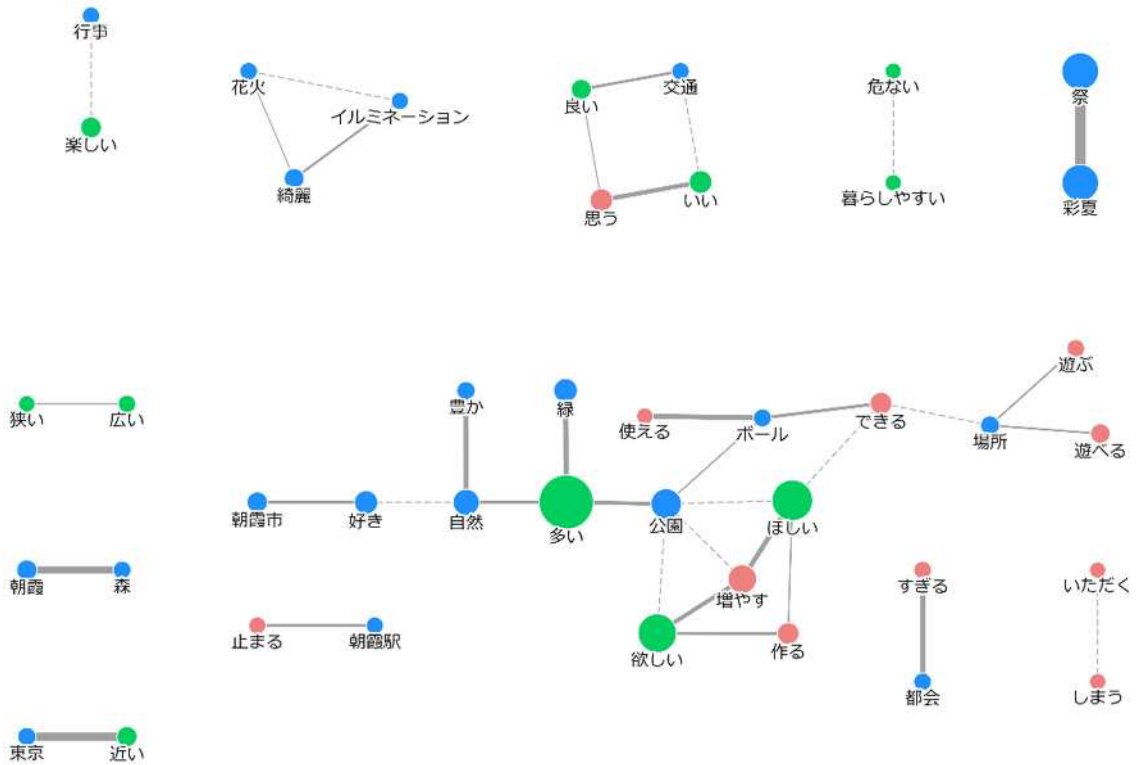
ワードクラウドとは、文章における単語の特性を視覚的に表現した図のことを指す。上図では、文字のサイズが大きいほど、その単語の文章における重要度や出現頻度が高いことを示す。

最も大きな単語は「彩夏」となっている。

次いで、名詞では「祭」「公園」「緑」「自然」「黒目川」「朝霞駅」などが大きい。「ショッピングモール」や「イルミネーション」も挙げられている。

動詞や形容詞は、名詞と関連付けて文章の末尾に記載され、出現頻度が高くなるため参考となるが、「多い」「欲しい(ほしい)」「増やす」が大きいほか、「遊べる」「住みやすい(暮らしやすい)」も挙げられている。

(2) 共起キーワード分析



共起キーワードとは、文章中の出現頻度が高い単語のうち、よく一緒に使われている単語を程度の強さで判断し、線で結んだ図のこと。円の大きさは、出現頻度の高さを表し、円同士を結ぶ線の太さは円同士の結びつきの強さを表す。

単語同士の結びつきの強さをみると、「彩夏—祭」「公園—多い」「緑—多い」「自然—多い」「朝霞—森」「東京—近い」であった。

全体として、朝霞市の自然や公園、彩夏祭などの行事に関する意見が多く、「朝霞市—好き」という単語同士の結びつきからわかるように、朝霞市に対して肯定的な意見が多かった。一方で、公園を増やしてほしいといった、朝霞市に対する意見・要望も寄せられた。

(3) 単語出現頻度

より具体的に自由記述回答の特徴を理解するため、出現頻度の高い上位30単語を下表にまとめた。回数のおえ方については、当該単語が出現したことをもって1回とする。そのため、同一回答者の発言の中で繰り返し使用されている単語があった場合、複数回数えられていることに留意する。

順位	頻出単語	出現回数	順位	頻出単語	出現回数
1	欲しい (ほしい)	800	16	朝霞市	101
2	多い	644	17	朝霞	98
3	祭	442	18	綺麗	90
4	彩夏	436	19	楽しい	87
5	公園	308	20	駅	85
6	自然	221	21	近い	76
7	増やす	215	22	良い	72
8	緑	166	23	場所	69
9	好き	161	24	祭り	68
10	いい	121	25	遊べる	66
11	思う	118	26	お祭り	62
12	さい (さいかさい)	117	27	東京	57
13	イベント	111	28	豊か	56
14	できる	105	29	森	47
15	作る	102	30	施設	46

最頻出の単語は、「ほしい」で800回であり、次点で「多い」が644回、「祭」「彩夏」がいずれも400回以上であった。また上位30単語のうち、彩夏祭をはじめとした朝霞市の行事に関する単語の出現回数は1,170回、朝霞市の自然に関する単語の出現回数は、434回であった。

以下、実際にどのように用いられたのか具体例を示す。

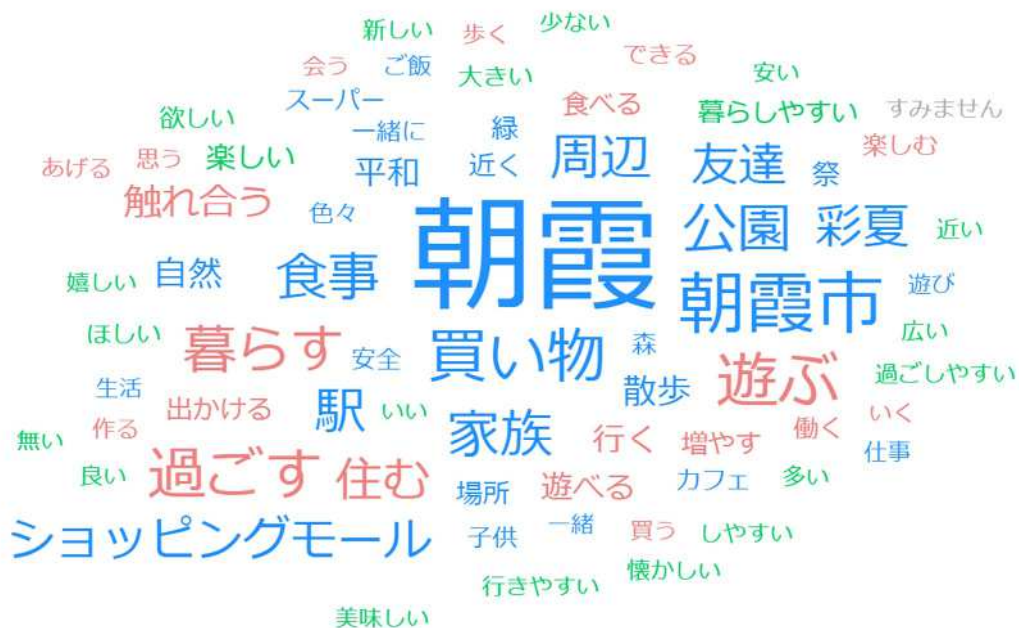
【原文例】

- 東京に行きやすいところ。田舎すぎず都会過ぎないところ。
- 東京に近くて交通が便利なところが良いと思う。
- 緑が多くて公園がたくさんある。
- 緑が多く、彩夏祭でも色々なあそびや食べ物があって楽しい。
- 毎年、イルミネーションがキレイで毎年少しずつ違う所がいい。
- 朝霞の森などの自然や工作に触れることができるところが好き。
- ボール使用可能の公園を増やしてほしい。
- ショッピングモールやゲームセンターなど長時間居られて遊べるところが欲しい。
- 本屋さんをもっと増やしてほしい。

問2 10～20年後の朝霞市での過ごし方について

問1と同様に、「10～20年後、大人になったあなたは、朝霞市でどんなふうに過ごしたいか」について、自由回答全体の傾向を把握するため、テキストマイニングを用いて回答結果を分析した。

(1) ワードクラウド分析

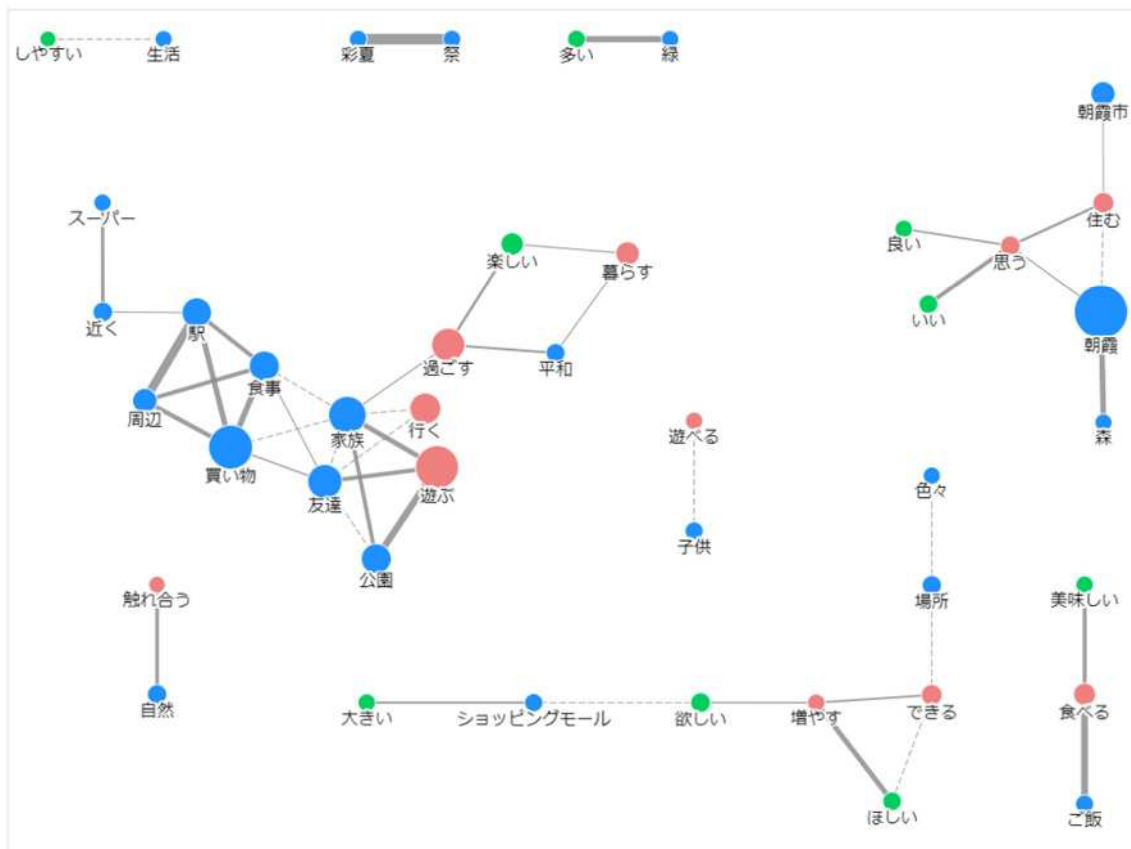


(上図の青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を示す)

ワードクラウドとは、文章における単語の特性を視覚的に表現した図のことを指す。上図では、文字のサイズが大きいほど、その単語の文章における重要度や出現頻度が高いことを示す。

最も大きな単語は「朝霞」となっている。次いで、名詞では「買い物」「ショッピングモール」「公園」「食事」「家族」「友達」などが大きい。動詞や形容詞は、10～20年後の具体的な過ごし方に関して、「過ごす」「暮らす」「遊ぶ」「住む」「触れ合う」といった単語が多かった。

(2) 共起キーワード分析



共起キーワードとは、文章中の出現頻度が高い単語のうち、よく一緒に使われている単語を程度の強さで判断し、線で結んだ図のこと。円の大きさは、出現頻度の高さを表し、円同士を結ぶ線の太さは円同士の結びつきの強さを表す。

単語同士の結びつきの強さをみると、「公園－遊ぶ」「家族－遊ぶ」「友達－遊ぶ」「食事－買い物」「駅－周辺」であった。また、「朝霞－森」「自然－触れ合う」の結びつきもみられた。

全体として、家族や友達と買い物や食事をしたたり、公園で遊んだり、自然や緑に親しみながら過ごしたいという意見が寄せられた。

(3) 単語出現頻度

さらに自由記述回答の特徴を把握するため、回答のうち、よく使用された単語を頻出単語として上位 30 単語を下表にまとめた。

順位	頻出単語	出現回数	順位	頻出単語	出現回数
1	朝霞	467	16	食べる	63
2	買い物	350	17	住む	53
3	遊ぶ	271	18	できる	50
4	家族	269	19	近く	49
5	友達	230	20	場所	46
6	食事	178	21	自然	45
7	公園	176	22	散歩	42
8	過ごす	173	23	思う	41
9	駅	171	24	平和	39
10	行く	151	25	ショッピングモール	31
11	周辺	107	26	一緒に	30
12	朝霞市	104	27	いい	30
13	暮らす	78	28	子供	29
14	欲しい (ほしい)	70	29	ご飯	29
15	楽しい	67	30	一緒	26
			30	買う	26

最頻出の単語は「朝霞」で 467 回であった。このほか、「買い物」「遊ぶ」「家族」「友達」「食事」等、出現回数が 100 以上の単語が 12 単語みられた。

以下、実際にどのように用いられたのか具体例を示す。

【原文例】

- 家族と楽しくショッピングしたいし、外食とか、遊園地とか遊べるところに子供を連れてって一緒に遊びたい。
- 友達と朝霞市の駅で、買い物や食事がしたい。
- 家族と公園で遊びたい。
- 美味しいご飯を食べたい。友達と楽しく過ごしたい。

総括

小中学生に「あなたの考える、朝霞市の好きなおところ、もっとこうなって欲しいと思うところ」、「10～20年後、大人になったあなたは、朝霞市でどんなふうに過ごしたいか」について聞いたところ、朝霞市の良さ、改善点、大人になったときの過ごし方についてたくさんの意見が寄せられた。

小中学生からは、朝霞市の好きなおところとして、緑が多く自然が豊かなこと、東京から近く利便性が高いこと、彩夏祭などイベントが多く楽しいといった回答がみられた。一方で、公園を増やしてほしいなどの要望も挙げられた。

また、大人になったら、朝霞市でどんなふうに過ごしたいかについては、家族や友人と買い物や食事をしたり、朝霞の森などの自然に親しみながら過ごしたいといった回答がみられた。